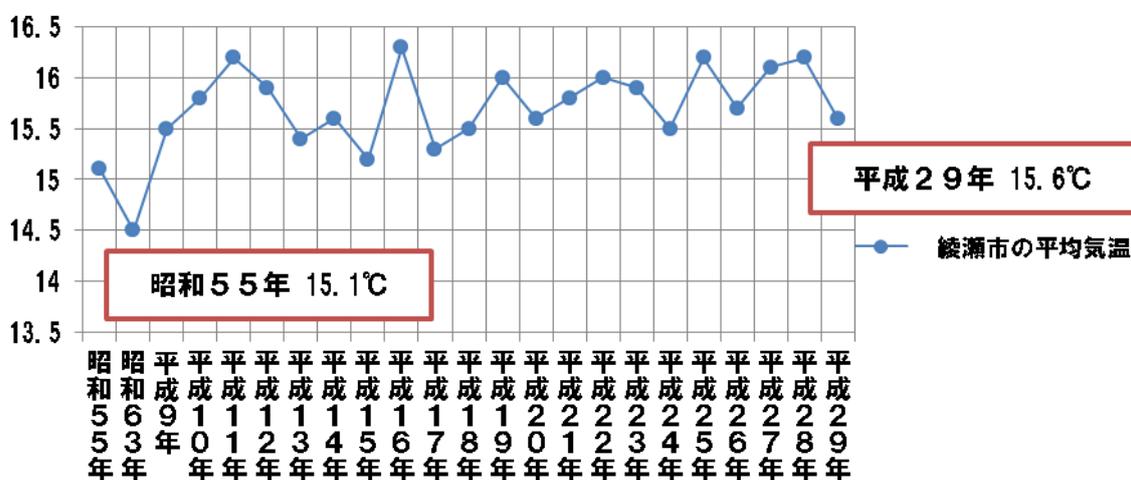


綾瀬市環境報告書

平成29年度取組結果

綾瀬市の平均気温



◇綾瀬市の平均気温の変化(危機管理課):昭和55(1980)年度から平均気温が0.5°C上昇



綾瀬市マスコットキャラクター あやびい

目 次

1	はじめに	1
	第2次綾瀬市環境基本計画	2
2	平成29年度の取組評価（まとめ）	3
3	各計画の報告	
	(1) 第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標結果	6
	(2) 第2期綾瀬市環境行動計画 取組結果	9
	(3) 綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編）取組結果	12
	(4) 第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）取組結果	21
	(5) あやせ環境教育推進基本計画 取組結果	27
	【 資料編 】	
	(1) 第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標	30
	(2) 第2期綾瀬市環境行動計画	34
	(3) 第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	44
	(4) あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）	50
	(5) 市民環境団体の活動報告	57
	(6) エコっと21（事業所編）登録事業所活動報告	62

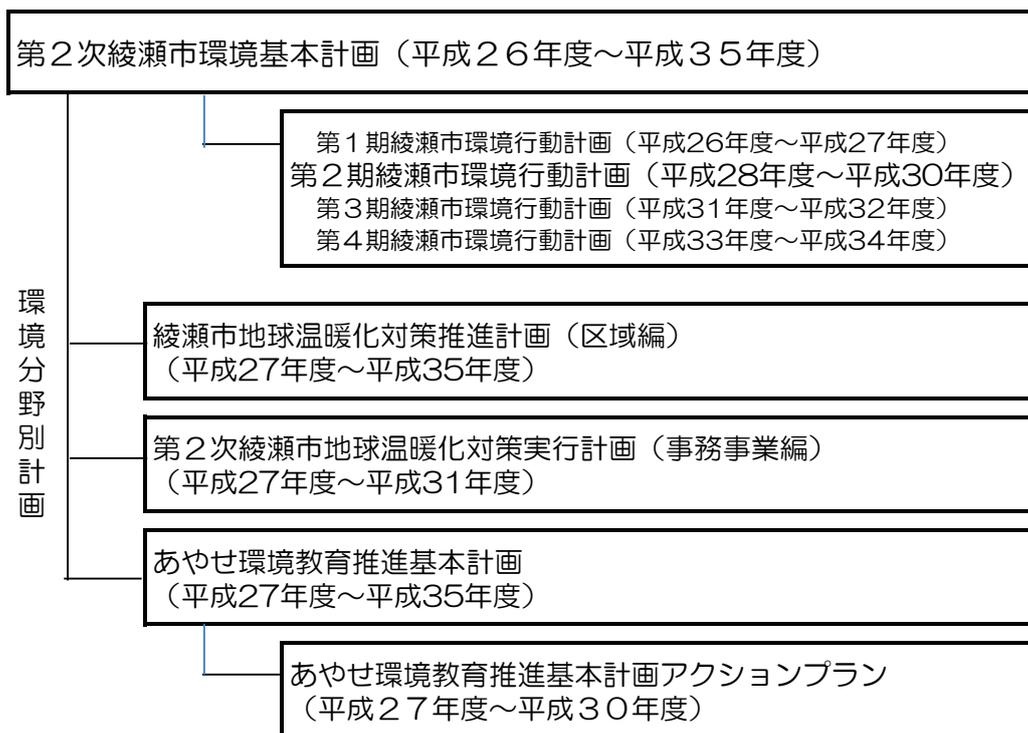
1 はじめに

本報告書は、綾瀬市環境基本条例第12条の規定により、「第2次綾瀬市環境基本計画（以下「基本計画」という。）」に基づき、平成29年度に実施した施策の状況等を公表するものです。

基本計画は、環境分野のマスタープランであり、6つの環境の将来像、20の基本目標の実現に向けて、市民・市民団体、事業者、市の取組内容等を示し、計画の進み具合を確認するため、環境目標や政策目標等の指標とその達成状況を示しています。加えて、環境保全などの取組内容については、「綾瀬市環境行動計画（以下「行動計画」という。）」として設定し、概ね3年毎に見直しを図っています。

また、環境分野別計画を策定し、各種環境施策を推進しています。

- ・綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編）（以下「区域編」という。）：本市域から排出される二酸化炭素を削減するための計画
- ・第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「事務事業編」という。）：1事業所として綾瀬市役所（本庁舎及び出先機関）から排出される二酸化炭素を削減するための計画
- ・あやせ環境教育推進基本計画（以下「教育計画」という。）：環境教育・環境学習を進めるための計画



【 第2次綾瀬市環境基本計画 】

基本
テーマ

環境の将来像

基本目標

あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを实践し、安全なまちづくりを進める

あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして

環境の将来像Ⅰ
豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち
(自然共生社会の構築)

- 1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます
- 2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします
- 3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくりま
- 4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます

環境の将来像Ⅱ
生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち
(生活環境の保全・改善)

- 1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします
- 2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります
- 3 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします

環境の将来像Ⅲ
歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち
(文化・都市環境の形成)

- 1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます
- 2 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくりま
- 3 人と環境にやさしい交通体系を整備しま
- 4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めま
- 5 ごみが散乱しないきれいなまちにします

環境の将来像Ⅳ
ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち
(循環型社会の構築)

- 1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理しま
- 2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めま

環境の将来像Ⅴ
地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち
(低炭素社会の構築)

- 1 電気・ガスなどの省エネルギー化やエネルギーの有効利用を進めま
- 2 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めま

環境の将来像Ⅵ
環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち
(協働社会の構築)

- 1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めま
- 2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組ま
- 3 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めま
- 4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めま

2 平成29年度の取組評価（まとめ）

平成29年度の各計画の取組評価は、次のとおりとなりました。

【 各計画の目標達成状況 】

- (1) 基本計画の平成29年度環境指標として掲げられた39指標のうち、25指標を目標どおり実施しました。13指標は事業に着手しているものの目標値に届かず、1指標は達成できませんでした。【本文：P6～8、資料編P30～33】

- (2) 行動計画として設定した54項目のうち、32項目を目標どおり、4項目をほぼ目標どおり実施し、11項目が一部未達成、7項目が未達成となりました。【本文：P9～11、資料編：P34～42】

- (3) 区域編における、綾瀬市内からの二酸化炭素排出量（平成27年度）は、1,001千t-CO₂となり、目標排出量883千t-CO₂以下は未達成となりました。
なお、家庭部門において、電力使用量の減少や、電力の排出原単位の改善により、二酸化炭素排出量は減少傾向にあります。【本文：P12～20】

- (4) 事務事業編における、市役所業務からの二酸化炭素排出量は、7,515t-CO₂となり、目標排出量7,367t-CO₂は未達成となりました。
【本文：P21～26、資料編：P44～49】

- (5) 教育計画の行動計画「あやせ環境教育推進基本計画アクションプラン（以下「アクションプラン」という。）」に設定した49項目のうち46項目を目標どおり実施しました。また、市立小・中学校での36項目の行動についても実施できました。【本文：P27～29、資料編：P50～56】

【 各計画の推進方針 】

- (1) 基本計画の指標について、特に達成率の低かった環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）及び環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）の達成率向上を目指し、交通体系の整備、ごみの減量化などの目標に積極的に取り組めます。
- (2) 行動計画で未達成となった行動については、平成30年度に改善し、基本計画の進行管理を進めます。

特に、環境の将来像のうち、将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）の達成率が前年度に引き続き低く、「地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち」を実現するための環境行動のうち、未達成となった「市役所の電気・水道使用量の削減」などの行動については、行動内容を精査し、達成できる行動内容として可能な範囲で行動計画において重点的に取り組めます。
- (3) 区域編の排出量削減目標達成に向け、削減効果の見られた「家庭部門からの二酸化炭素排出量削減」を重点とし、「環境保全対策補助事業」「あやせエコっと21」の2事業を中心に、引き続き各種環境啓発事業に取り組めます。
- (4) 事務事業編の二酸化炭素排出量のさらなる削減に向け、本庁舎のLED照明化や省エネルギー行動に取り組めます。
- (5) アクションプランについては、環境教育における指導者の育成を推進するとともに、エコっと21事業所編への参加促進に向けて、事業者への訪問や事業所向けの講座実施時の普及啓発に取り組めます。

【 未達成事項 】

各計画の未達成事項は、10項目（未達成事項一覧参照）となりました。「今後の取組」に基づき、目標達成に向けた施策を進めていきます。

綾瀬市環境報告書 平成29年度取組結果 未達成事項一覧

No.	目 標	結 果	今後の取組	ページ
第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標 (平成26～35年度)				
1	I 自然共生社会の構築 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます【動植物】 1-1 あやせ生物多様性行動指針の策定と推進： 27年度までに策定、その後指針に基づいて推進	未策定	※生物多様性行動指針は29年度に策定しないことと決定	30
第2期綾瀬市環境行動計画 (平成28～30年度)				
2	III 文化・都市環境の形成 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します 26-2 バスの乗り換え拠点の整備：駐輪場1か所	関係各課と調整中のため未達成	引き続き調整する	36
3	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 42-2 雨水貯留槽設置の助成：10件以上	0件（助成終了）	問合せの際、助成はなくなったが省資源となる旨を説明し、設置促進に努める	39
4	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 43-3 市役所の電気使用量の削減：3%削減	H25 1,430,150 kWh H29 1,440,583 kWh 1%増	ライトダウンキャンペーンなどへの協力による節電や、LED照明導入に向けた調整を行う	39
5	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 45-5 市役所の水道利用量の削減：3%削減	H25 3,984m ³ H29 5,158m ³ 29%増	維持管理の点検等で水を使用する際に極力少量で清掃を行うなど工夫する	39
6	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 47-7 省エネや省資源活動に実績があった事業所への顕彰：累計2事業所以上	環境報告書で事業所の取組を紹介	事業所への省エネ普及啓発に関するほかの方法を検討する	39
7	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 49-9 目久尻川の水辺を活かした親水公園（クールスポット）の整備：目久尻川親水公園の用地整備	地権者と調整(4回)	引き続き交渉する	39
8	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 64-5 公園でのハイブリッド照明灯等の導入：2基以上	高額のためLEDの導入を検討中	引き続き設置箇所を検討する	41
綾瀬市地球温暖化対策推進計画 (区域編) (平成27～35年度)				
9	二酸化炭素排出量 883千t-CO2	二酸化炭素排出量 1,001千t-CO2	・環境保全対策補助事業 ・あやせエコっと21(家庭編)(学童編)(事業所編)	20
第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編) (平成27～31年度)				
10	二酸化炭素排出量 7,367t-CO2	二酸化炭素排出量 7,515t-CO2	・照明のLED化などの高効率照明への転換 ・新エネルギーを利用した設備の導入 ・節電などの省エネ行動	26

3 各計画の報告

第2次綾瀬市環境基本計画

(平成26年度～平成35年度)

平成29年度 環境指標結果

1 環境指標の概要

本指標は、第2次綾瀬市環境基本計画の基本目標ごとに定められており、平成35年度の目標達成に向けて進行管理を行うものです。

2 平成29年度環境指標の把握方法

市が実施した市民満足度調査や、各課に照会を行った内容をもとに把握しました。

3 平成29年度の環境指標結果

環境の将来像Ⅰ～Ⅵに掲げられた39指標のうち、25指標を目標どおり実施しました。13指標は事業に着手しているものの目標値に届かず、1指標は達成できませんでした。

各将来像の達成状況は次のとおりとなりました(資料編参照P30～)。

○：目標達成、△：着手したが目標値に届かなかった、×：未達成

◆環境の将来像Ⅰ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち(自然共生社会の構築) 9指標：○6指標、△2指標、×1指標

○ 1-1「あやせ生物多様性行動指針の策定と推進」については、10月に開催した環境施策調整会議で、策定しないことを決定したため、未達成となっていますが、生物多様性に関する調査を実施することで、生物の多様性を育むための取組を進めます。

◆**環境の将来像Ⅱ** 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち（生活環境の保全・改善） 9 指標：○ 8 指標、△ 1 指標

○ 16-7「生活排水処理率」については目標値を達成できませんでした。その他の指標についてはすべて達成することができました。引き続き生活環境の保全・改善に向けた取組を進め、目標達成を目指します。

◆**環境の将来像Ⅲ** 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち（文化・都市環境の形成） 10 指標：○ 5 指標、△ 5 指標

○ 21-3「市民一人当たりの公園面積」、23-5「公共交通機関（バス）利用満足度」など 5 つの指標について、目標を達成できませんでした。特に交通に関する指標は 2 指標とも達成できなかったことから、重点的に推進し、文化・都市環境の形成に向けて引き続き取り組む必要があります。

なお、27-9「まち美化マナー宣言登録者数」は、平成 28 年 5 月に新規登録の受付を終了しました。

◆**環境の将来像Ⅳ** ごみの減量化や 3 R が進められ、資源が大切に利用されるまち（循環型社会の構築） 4 指標：○ 1 指標、△ 3 指標

○ 30-2「事業系ごみの減量化（排出量）」、31-3「焼却処理されるごみ量」及び 32-4「リサイクル率」について目標値を達成できませんでした。循環型社会の構築を目指し、3 R の普及啓発を行う必要があります。

◆**環境の将来像Ⅴ** 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築） 2 指標：○ 2 指標

○ 33-1「地球にやさしい生活を実践している市民の割合」及び 34-2「補助金助成により設置された住宅用太陽光発電設備の出力」の 2 指標について目標を達成しました。引き続き低炭素社会の構築に向けて、省エネ・創エネを進めます。

◆環境の将来像Ⅵ 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち（協働社会の構築） 5 指標：○ 3 指標、△ 2 指標

○ 36-2「あやせエコっと 2 1 家庭編（応募家庭数）」及び37-3「あやせエコっと 2 1 事業所（登録事業所）」について、目標を達成できませんでした。2 事業所が新たにあやせエコっと 2 1 登録事業所となりましたが、目標値には達しませんでした。引き続き事業所への訪問を継続し、案内を強化するとともに、市民や事業者などと協働し、地球環境保全の取組を進める必要があります。

4 今後の取組

「環境の将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）」については、目標を達成することができましたが、そのほかの指標については目標を達成できていません。その中でも「環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）」については、事業等は実施しているものの目標に達しない指標が多く、指標の半数が目標を達成できていません。特に、交通に関する指標について目標を達成できていないことから、この指標に重点的に取り組み、人と環境にやさしい交通体系を整備することで、歴史・文化資源を活かした環境と共生するまちを形成していく必要があります。

また、「環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）」についても、目標に達しない指標が多く評価が低いことから、講座やイベントなどを効果的に活用し、ごみの減量化やリサイクル率向上を目指して市民や事業者に対し、引き続き普及啓発を行っていく必要があります。

第 2 期綾瀬市環境行動計画 平成 2 8 年度～平成 3 0 年度
あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを实践し、安全なまちづくりを進める
～あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして～

平成 2 9 年度 取組結果

1 平成 2 9 年度 環境行動計画の概要

本計画は、第 2 次綾瀬市環境基本計画の第 2 期行動計画として、行政が行う内容の 5 4 項目を設定し、行動内容の進行管理をし、環境にやさしい暮らしを实践するものです。

2 平成 2 9 年度の取組状況の把握方法

取組状況の把握は、行動計画として定めた項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせ EMS）」により所管課に照会し、取組実績を確認しました。

3 平成 2 9 年度の取組結果

環境の将来像 I ～VI に掲げられた 5 4 項目のうち、3 2 項目を目標どおり、4 項目をほぼ目標どおり実施し、1 1 項目が一部未達成、7 項目が未達成となりました。各将来像の達成状況は、次のとおりとなりました（資料編参照 P 3 4 ～）。

◎：目標どおり、○：ほぼ目標どおり、△：一部未達成、×未達成

◆**環境の将来像 I** 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち（自然共生社会の構築） 1 3 項目：◎ 1 1 項目、△ 2 項目

○ 基本目標④の農業分野について、目標どおり実施し、農地保全意識を醸成することができました。あやせ生物多様性行動指針の策定は行わないこととなりましたが、生物多様性に関する調査などを行うことで、里地里山の良好な生物生息環境の確保を推進します。

◆**環境の将来像 II** 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち（生活環境の保全・改善）：行動内容を設定しないため、評価なし。

○ 大気や水質、騒音の監視状況について、今年度より担当課で進行管理を実施することとしました。

◆**環境の将来像Ⅲ** 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち（文化・都市環境の形成）7項目：◎2項目、○1項目、△3項目、×1項目

○ 文化財保護や景観保護については達成度が高くなっておりませんが、環境に配慮した交通体系の整備については達成度が低く、都市計画道路等の整備に向けた地権者との調整を引き続き行っていく必要があります。

◆**環境の将来像Ⅳ** ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち（循環型社会の構築）7項目：◎4項目、△3項目

○ 生ごみ処理容器購入費助成や家庭系ごみの減量化について、目標を達成することができませんでした。家庭系ごみの減量化については、平成28年度と比較し改善がみられますが、目標達成には至りませんでした。マイバッグ持参の普及啓発などを継続し、循環型社会の構築に向けて引き続き取り組みます。

◆**環境の将来像Ⅴ** 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築）25項目：◎13項目、○3項目、△3項目、×6項目

○ 市役所の電気使用量や水道使用量が増加しておりますが、市職員の節電や節水だけでは限界があることから、省エネ診断を踏まえた設備更新を検討し、省エネを進めていきます。また、他の環境の将来像と比較し、達成率が低くなっていることから、地球温暖化防止への取り組みに力を入れる必要があります。

◆**環境の将来像Ⅵ** 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち（協働社会の構築）2項目：◎2項目

○ すべての項目を達成することができました。引き続き市民や事業者等との協働を進めていきます。

4 今後の取組

環境の将来像のうち、将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）の達成率が前年度に引き続き低く、「地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち」を実現するための環境行動のうち、未達成となった次の行動については、行動内容を精査し、達成できる行動内容として可能な範囲で第2期環境行動計画において重点的に取り組む必要があります。

① 市役所の電気・水道使用量の削減(平成25年度比)：実現に向けた取組 → 市職員の節電や節水だけでは限界があることから、省エネ診断を踏まえた設備更

新を検討し、省エネを進める。

- ② 省エネや省資源活動に実績があった事業所への顕彰 → 顕彰を行わないと決定したことから、環境展で事業所の省エネ活動を紹介するなど、普及啓発に関する他の方法を検討する。
- ③ あやせエコっと21（事業編）への参加促進 → 事業所を訪問することで、案内を強化する。
- ④ 目久尻川の水辺を活かした親水公園（クールスポット）の整備 → 引き続き地権者との交渉を重ねる。
- ⑤ 公園でのハイブリッド照明灯等の導入 → LEDの導入も視野に入れ、引き続き省エネ仕様の照明灯等の設置箇所を検討する。

また、環境の将来像別では、「環境の将来像Ⅰ（自然共生社会の構築）」については、生物多様性に関する調査などを行うことで、里地里山の良好な生物生息環境の確保を推進する必要があります。「環境の将来像Ⅱ（生活環境の保全・改善）」については、大気や水質等の継続的な現状調査や、騒音等の原因者への指導を実施していきます。「環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）」については、交通体系の整備については達成度が低いことから、地権者等と調整を継続して進めていく必要があります。「環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）」については、家庭系ごみの減量化について改善がみられたものの目標を達成できなかったことから、生ごみ処理容器購入費助成などを進めながら、資源が大切にされるまちを目指していく必要があります。「環境の将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）」については、二酸化炭素の排出抑制に向け、省エネ診断などを実施しながら、より効果的な取組を進める必要があります。「環境の将来像Ⅵ（協働社会の構築）」については、事業所独自の省エネや美化活動も推進されていますが、市と事業所との連携をより深めていく必要があります。



綾瀬市地球温暖化対策推進計画

(区域編)

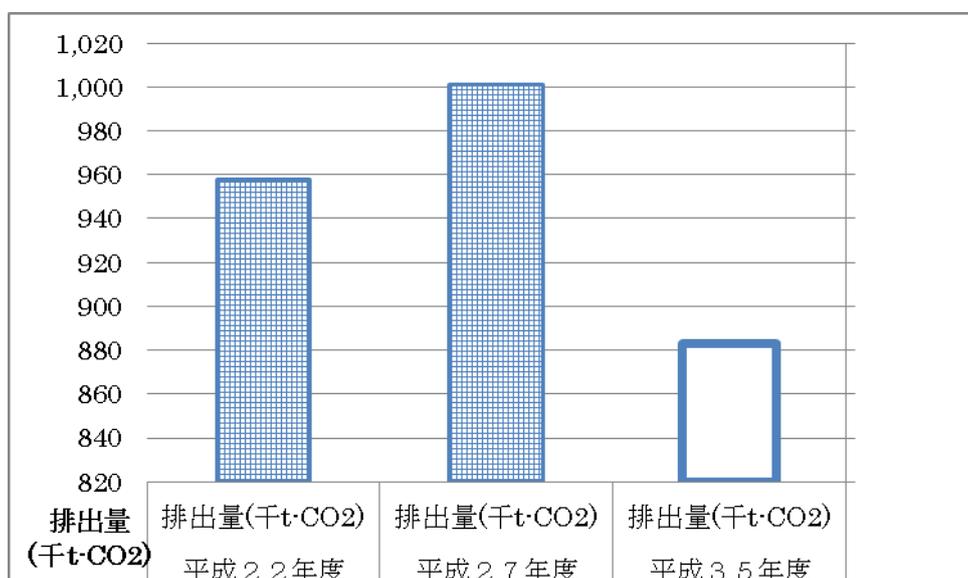
- 平成27年度～平成35年度 -

**地球温暖化防止のために、
みんなで省エネや創エネを進めるまち
低炭素社会の構築を目指して**

平成29年度 取組結果

二酸化炭素排出状況

年度	平成22年度 (基準年度)	平成27年度	平成35年度 (目標年度)
	排出量(千t-CO2)	排出量(千t-CO2)	排出量(千t-CO2)
排出量	958	1,001	883
基準年度比 (%)	—	4.5	△ 7.8



1 綾瀬市地球温暖化対策推進計画—平成27年度～平成35年度—の概要

本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づき、平成27年3月に策定し、本市区域の自然的条件に応じた温室効果ガスの排出削減のための施策を定め、地球温暖化対策を推進するものです。

◇綾瀬市地球温暖化対策推進計画の概要は以下のとおりです。

○**計画の目的** 第2次綾瀬市環境基本計画に掲げる低炭素社会の構築に向けた環境の将来像「地球温暖化防止のために、みんなで省エネ創エネを進めるまち」の実現を図る。

○**基準年度** 平成22年度

○**計画期間** 平成27年度～平成35年度

○**計画の位置づけ** 環境行政の方向性を定めた第2次綾瀬市環境基本計画（平成26年度～平成35年度）の分野別計画として、市民・事業者・市が一体となって取り組み、市域全体で施策を推進します。

○**対象温室効果ガス** 地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第3項に基づく、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(HFC)（パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(PFC)、六ふっ化硫黄(SF₆)、三ふっ化窒素(NF₃)は、対象外とする。)

(地球温暖化対策の推進に関する法律(平成28年5月改正))

○**基準年度**（平成22年度）の二酸化炭素排出量 95万8千t

○**削減目標** 二酸化炭素排出量を平成35年度までに7万5千t（約8%）削減
（平成35年度二酸化炭素排出量目標：88万3千t）

2 温室効果ガス排出量の算出方法

本市区域の排出量は、環境省手引書に沿って国や県のデータから推計する簡易的な按分手法を用いて算出しています。データの制約上2年程度さかのぼって算出することとなるため、平成29年度取組結果のデータは、平成27年度排出量となります。

3 平成27年度の二酸化炭素の排出状況

本計画では、平成35（2023）年度の削減目標として、基準年（平成22（2010）年）度をベースに、二酸化炭素排出量を約7万5千トン（約△8%）削減し、88万3千トン以下にすることを目指しています。

しかし、本市区域の平成27年度の二酸化炭素排出量の推計結果は100万1千t-CO2となり、基準年（平成22年）度と比較すると、4万3千t-CO2、4.5%の増加となりました。

温室効果ガス排出量

（単位：千t-CO2）

温室効果ガス種・部門など				基準年 平成22年度 (2010年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	基準年比	
								増減量	増減率
二酸化炭素	エネルギー起源 (間接排出量)	産業部門	製造業	623	662	659	646	23	3.7%
			建設業・鉱業	10	9	8	9	-1	-10.0%
			農林水産業	2	2	1	1	-1	-50.0%
		小計	636	673	668	656	21	3.1%	
	家庭部門	98	125	114	97	-1	-1.0%		
	業務部門	93	121	130	124	31	33.3%		
	運輸部門	121	123	121	118	-3	-2.5%		
	小計	948	1042	1033	995	47	5.0%		
	非エネルギー起源(廃プラも焼却)	10	6	6	6	-4	-40.0%		
	二酸化炭素(CO2)排出量計				958	1,048	1,039	1,001	43
その他のガス(CH4、N2O、HFC)計				4	4	4	5	1	25.0%
温室効果ガス計				962	1,052	1,043	1,006	44	4.6%
人口(人)				83,167	83,828	83,990	84,460	1,293	1.6%
1人当たり二酸化炭素排出量(t-CO2/人)				11.5	12.5	12.4	11.9	-	-
1人当たり温室効果ガス排出量(t-CO2/人)				11.6	12.5	12.4	11.9	-	-

※数値は四捨五入して千t-CO2としていますので、合計が合わないことがあります。

二酸化炭素排出量は経済状況（好景気、不景気）などの影響を受けることから、景気動向により変動しますが、国では次のように考察しています。

- ・前年度からの減少要因としては、省エネの進展や冷夏・暖冬による影響、再エネの導入拡大、原発の再稼働などにより、エネルギー起源のCO2排出量が減少したことが挙げられます。

4 部門別の二酸化炭素の排出状況

本市域の二酸化炭素排出量の構成比は、産業部門65.5%、家庭部門9.7%、業務部門12.4%、運輸部門11.8%、廃棄物部門0.6%となりました。

基準年と比較すると、家庭部門、運輸部門、廃棄物部門の排出量は減少していますが、産業部門(+3.1%)、業務部門(+33.3%)の排出量は増加しています。

部門別二酸化炭素排出量の変動

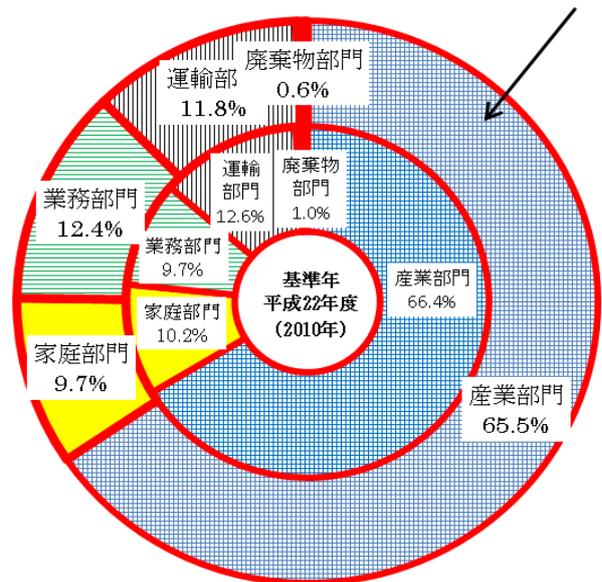
(単位: 千t-CO2)

部門	基準年 平成22年度 (2010年)		平成25年度 (2013年)		平成26年度 (2014年)		平成27年度 (2015年)		基準年比		目標年 平成35年度 (2023年)	
	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	増減率	排出量	構成比
産業部門	636	66.4%	673	64.2%	668	64.3%	656	65.5%	20	3.1%	611	69.2%
家庭部門	98	10.2%	125	11.9%	114	11.0%	97	9.7%	-1	-1.0%	76	8.6%
業務部門	93	9.7%	121	11.5%	130	12.5%	124	12.4%	31	33.3%	89	10.1%
運輸部門	121	12.6%	123	11.7%	121	11.6%	118	11.8%	-3	-2.5%	99	11.2%
廃棄物部門	10	1.0%	6	0.6%	6	0.6%	6	0.6%	-4	-40.0%	8	0.9%
合計	958	100.0%	1,048	100.0%	1,039	100.0%	1,001	100.0%	43	4.5%	883	100.0%

平成27年度
(2015年)

●産業部門

工業統計に基づく製造品出荷額が、3,869億円(平成22年度)から4,114億円(平成27年度)と6.3%増加するなど、生産活動による二酸化炭素排出量が増加しています。



●家庭部門

世帯数が、33,651世帯(平成22年度)から36,379世帯(平成27年度)と8.1%増加しましたが、電力消費量の減少(省エネ、冷夏・暖冬)や、電力の排出原単位の改善(再生可能エネルギーの導入拡大や原発の再稼働等)により、二酸化炭素排出量は1%減少しました。

●業務部門

市街化が進み、スーパーなどの第3次産業が増加したことから、LPガス、都市ガス及び電力の消費量が増加しました。

●運輸部門

世帯数の増加に伴い自動車所有台数は増加しましたが、環境性能の向上により二酸化炭素排出量は減少しました。

5 本市の取組状況

市では、市域からの二酸化炭素排出量を削減するため、特に増加傾向にある家庭部門からの排出抑制対策として、平成17年度から環境保全対策補助事業を、平成18年度からあやせエコっと21を実施し、この2事業を中心に第2次環境基本計画を基に各種啓発事業に取り組んでいます。(啓発事業の取組結果については、「環境行動計画」及び「環境教育推進計画(アクションプラン)」参照)

環境保全対策補助事業については、本計画では、太陽光発電設備設置事業補助(再生可能エネルギーの導入)における二酸化炭素排出削減量を平成35年度2,980t-CO2に設定しています。平成29年度の削減量は、2,699t-CO2となり、計画目標達成率は90.6%となるとともに、平成29年度の目標1,986t-CO2に対し、達成率は135.9%となりました。

1. 再生可能エネルギーの導入

(1) 市の太陽光発電設備設置等補助事業	対象	対象数			設定	削減見込量 (t-CO2/年)
		全対象数	単位	計画での予定対象数		
1) 住宅用太陽光発電設備設置補助	住宅	H23→H35年度までの予定対象数		1,900軒	100%	2,770
2) 共同住宅用太陽光発電設備設置補助	共同住宅	H23→H35年度までの予定対象数		30軒	100%	50
3) 事業所用太陽光発電設備設置補助	事業所	H23→H35年度までの予定対象数		30件	100%	160
						2,980

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	
CO2 削減量 (kg-CO2)	削減目標	個人	1,331,666	1,606,176	1,752,192	1,898,208	2,044,224	2,190,240	2,336,256	2,482,272	2,628,288	2,770,000
		共同	7,301	10,951	16,427	21,902	27,378	32,854	38,329	43,805	49,280	50,000
		事業所	43,805	32,854	49,280	65,707	82,134	98,561	114,988	131,414	147,841	160,000
		計	1,382,772	1,649,981	1,817,899	1,985,818	2,153,736	2,321,654	2,489,573	2,657,491	2,825,410	2,980,000
	削減実績	個人	1,221,486	1,904,234	2,079,205	2,139,362						
		共同	8,016.28	15,766	18,640	18,118						
		事業所	39,734.60	54,969	532,145	541,997						
	計	1,269,237	1,974,969	2,629,990	2,699,477	0	0	0	0	0	0	
	達成率	91.8%	119.7%	144.7%	135.9%							
H35年度:目標達成率		42.6%	66.3%	88.3%	90.6%							

この2事業の取組により平成27年度の市域の家庭部門から1,982.1t-CO2の二酸化炭素の削減効果がありました(環境保全対策補助事業:個人住宅用・共同住宅・事業所用太陽光発電設備:1975.0t-CO2。あやせエコっと21家庭編:節電・節水、レジ袋削減、家電製品買替え:7.1t-CO2)。

平成29年度では、3,092.8t-CO2の二酸化炭素の削減効果があり、50年杉220,914本/年の植林効果(1本約14kg/年:関東森林管理局)に匹敵します。

また、人で試算すると1,512人分(2016年度:約2,045kg-CO₂/年:全国地球温暖化防止活動センター)の二酸化炭素排出量となります。

なお、平成29年度の取組結果は次のとおりとなりました。

○ 二酸化炭素排出量の算定

二酸化炭素排出量の算定は、環境省が平成29年3月に策定した「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル」に基づき行う。(東京電力エナジーパートナー(株)排出係数:0.486)

※平成30年8月1日現在で把握できる最新の排出係数を使用することとします。

※平成25年の排出係数で算定する方法から変更。(平成25年度東京電力(株)排出係数:0.53)

- (1) **環境保全対策補助事業**: 太陽光発電設備の導入など地球温暖化対策に有効な機器の導入に対し、一部経費を助成することによって普及促進を図っています。この取組により、平成29年度では3,088.6 t-CO₂の二酸化炭素を削減することができました。

○太陽光発電設備設置補助金(個人住宅・共同住宅・事業所用)

平成17年度から開始した個人住宅用補助は、平成29年度までに1,150件で4,401.98kW、平成25年度から開始した共同住宅用が6件で37.28kW及び事業所用が14件で1,115.22kW、合計5,554.48kWとなりました。年間では、5,554,480kWh(5,554.48kW×1,000kWh/年)の電力を生むことになり、2,699.5 t-CO₂(5,554.48kW×1,000kWh×0.486)の二酸化炭素が削減できました。

○家庭用燃料電池(エネファーム)設置補助金(平成25年度から実施)

平成25年度から開始し、平成29年度までの累計は139台となり、184.9 t-CO₂[139台×1,330kg-CO₂(1台当たりの年間削減量)]の二酸化炭素が削減できました。

○電気自動車導入補助金(平成23年度から実施)

平成23年度から開始し、平成29年度までの累計は88台となり、10当たり10km、年平均10,000km走行すると想定した場合、年間、約204.2 t-CO₂[88台×10,000km÷10km/ℓ×2.32(ガソリン排出係数)]の二酸

化炭素が削減できました。

○雨水貯留槽設置補助金（平成17年度から実施）

平成17年度から開始し、平成29年度までの累計は117基となり、18,039ℓの節水効果となりました（平成28年度で制度終了）。

☆ 個人住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
17～26	912	3,346.17
27	98	424.59
28	83	387.65
29	57	243.57
合計	1,150	4,401.98

☆ 家庭用燃料電池設置状況

年度	台数
25	19
26	20
27	23
28	26
29	51
合計	139

☆ 共同住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
24～26	4	21.96
27	1	9.26
28	1	6.06
29	0	0.00
合計	6	37.28

☆ 電気自動車導入状況

年度	台数
25	40
26	8
27	13
28	12
29	15
合計	88

☆ 事業所用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
24～25	8	108.85
27	0	0.00
28	5	998.10
29	1	8.27
合計	14	1,115.22

☆ 雨水貯留槽設置状況

年度	件数 (件)	容量 (ℓ)
17～26	107	16,154
27	5	1,100
28	5	785
平成28年度で補助制度終了		
合計	117	18,039

(2) あやせエコっと21（家庭編）キャンペーン：家庭での節電や節水など、環境に配慮した行動や取組を進めていくため、平成25年度から始まった市独自の普及・啓発活動です。前年同月比等で二酸化炭素排出量を抑制した場合に応募でき、抽選で旅行券やあやせ名産品などの賞品が当たるキャンペーンで、平成26年度

からは、あやせ環境ネットワークと協働で実施しています。

平成29年度は、この取組（節電・レジ袋削減・家電製品買換え）により、合計で約4.2 t-CO₂の二酸化炭素排出量の抑制ができました。

○節電キャンペーン：期間中の使用量が昨年同期より削減できた場合に応募できます。

二酸化炭素削減量：平成29年度は、214件、7,584 kWh の削減。これに、電

年度	26	27	28	29
件数	497	280	248	214

気の二酸化炭素係数0.486を乗じて、節電で約3.7 t-CO₂の二酸化炭素を削減することができました（推計）。 ※節水キャンペーンは平成29年度に廃止。

○レジ袋削減キャンペーン：市内レジ袋削減推進登録店等でマイバッグを持参して、1,000円以上買い物をした20,000円分（27年度までは15,000円）のレシートが対象として応募できます。

年度	26	27	28	29
件数	307	402	366	446

平成29年度は、応募口数446口、レシート枚数3,223枚。レシート1枚につきレジ袋(LLサイズ10g)1枚を削減したとして推計し、二酸化炭素削減量は、1枚あたり60g-CO₂とすると、約193kg-CO₂の二酸化炭素が削減できました（推計）。

○家電製品買換えキャンペーン：エアコン、冷蔵庫、テレビを消費電力が減少するものに買い換えた場合に購入店に応じた口数の応募ができます。

環境省の「しんきゅうさん：省エネ製品買換えナビゲーション」に基づく、推

年度	27	28	29
件数	12	74	15

計二酸化炭素削減量は、約313kg-CO₂

となりました（推計）。

(3) あやせエコっと21（学童編）【新規】：市内在住の小学5年生を対象に、夏休み期間中の10日間、省エネ行動を実践することで省エネ意識の向上を図りました。参加児童数205人。

(4) あやせエコっと21(事業所編): 136項目の環境配慮行動から2項目以上に取り組んだ事業所を「環境に配慮する事業所」として登録し、市HPで紹介することにより事業者の環境配慮行動を促しました。 ※3件辞退

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	合計
件数	1	8	14	1	3	0	5	5	10	0	0	2	46

6 今後の取組

第2次綾瀬市環境基本計画に基づく「環境行動計画」により、低炭素社会の構築に向けた取組を推進しており、二酸化炭素排出量について基準年(平成22年度)と比較し、家庭部門、運輸部門、廃棄物部門が減少し、産業部門、業務部門が増加しました。

特に、市役所や学校、病院、事務所等の業務部門からの排出量が増加傾向にあり、その要因として、事業所数の増加や営業時間の延長等があげられます。

業務部門と家庭部門の対策としては次のような方法が考えられます。

1 エネルギー消費量を削減すること

(1) 使い方による削減

こまめな消灯や照明の間引き点灯、空調設備の適切な温度調整や室外機の清掃等

(2) 買換えによる削減

蛍光灯をLED照明へ、老朽化した空調設備を高効率な設備への買換え等

2 エネルギーを作り出すこと

(1) 家庭や事業所での創エネ

太陽光発電設備や燃料電池の設置等

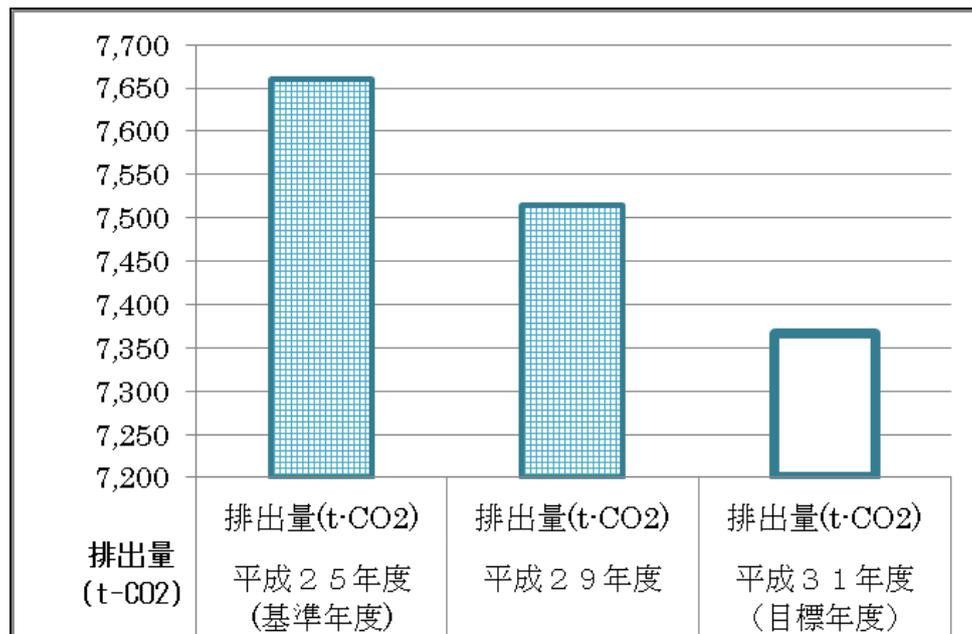
家庭部門については、微減となりました。

今後も、市民や市民団体、事業者等と連携し、省エネの実践に向けた意識啓発事業の実施や再生可能エネルギーの活用を支援するとともに、「環境保全対策補助事業」や「あやせエコっと21(家庭編)・(学童編)・(事業所編)」を継続実施し、二酸化炭素排出量の削減に取り組む必要があります。

第2次 綾瀨市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編) 取組結果(平成29年度実績)

二酸化炭素排出状況

年度	平成25年度 (基準年度)	平成29年度	平成31年度 (目標年度)
	排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)
排出量	7,659	7,515	7,367
基準年度比 (%)	—	△ 1.9	△ 3.8



1 第2次（平成27年度～平成31年度）実行計画（事務事業編）の概要

本実行計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成28年5月改正）に基づき、第1次実行計画（平成22年度～26年度）を受け、第2次実行計画として平成27年3月に策定し、綾瀬市役所の全ての事務事業から排出される温室効果ガスの削減に向けた各種取組を推進するものです。

◇第2次実行計画（事務事業編）の概要は以下のとおりです。

○**計画の目的** 温室効果ガスの排出量の削減目標の実現に向け各種取組を行い、地球温暖化対策の推進を図る。

○**基準年度** 平成25年度

○**計画期間** 平成27年度～平成31年度

○**目標年度** 平成31年度

○**計画の位置づけ** 綾瀬市環境基本条例の基本理念を基に、「第2次綾瀬市環境基本計画」に掲げられた重点施策を踏まえるとともに、綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）の環境配慮プログラムの取組のうち、特に温室効果ガスの排出削減を推進する取組やその推進体制を生かしながら進める。

○**対象事務事業** 市長部局、消防、議会事務局、監査事務局、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、教育委員会で行う全ての事務事業

○**対象温室効果ガス** 二酸化炭素〔他の温室効果ガス（メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素）は、対象外とする。〕

○**基準年度** 平成25年度の二酸化炭素排出量 7,659 t

○**削減目標** 二酸化炭素排出量を平成31年度までに、平成25年度比△3.8%

【温室効果ガス（二酸化炭素排出量）の削減目標】

	平成25年度 (2013年度)	平成31年度 (2019年度)	
	実績・基準値	目標値	削減目標
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	7,659	7,367	292
平成25年度比(%)	—	96.2	3.8

○ 温室効果ガス排出量の算定

温室効果ガス総排出量の算定は、環境省が平成29年3月に発行した「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン」に基づき行う。※平成25年の排出係数で算定する方法から変更。

2 平成29年度の取組状況の把握方法

綾瀬市役所の本庁舎及び市が管理する公共施設で行う事務事業を対象としていることから、取組状況の把握は「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により、施設管理主管課を通じて、電気、ガス、灯油などのエネルギーの使用量を集計し、二酸化炭素排出量を推計しました。

3 平成29年度の二酸化炭素の排出状況

本計画の削減目標は、平成31年度までに、平成25年度比3.8%削減としていますが、平成29年度の事務事業から排出された二酸化炭素の総量は、7,515 t-CO2となり、基準年（平成25年）度と比較すると、144 t-CO2、1.9%削減という結果になりました。

平成25年度（基準年度）の二酸化炭素排出量	: 7,659 t
平成29年度の二酸化炭素排出量	: 7,515 t
基準年度に対する増減率	: △1.9%

【二酸化炭素の活動項目別排出状況】

活動項目		平成29年度（2017年度）				
		使用量	単位	排出係数	排出量	単位
電気の使用	東京電力(株)など	12,225,415	kWh	0.362~0.570	5,553,110	kg-CO2
燃料の使用	ガソリン	69,847	L	2.32	162,046	
	灯油	191,248		2.49	476,208	
	軽油	66,947		2.58	172,724	
	A重油	2,660		2.71	7,209	
	液化石油ガス（LPG）	3,837	m3	3.00	11,511	
	都市ガス（13A）	506,910		2.23	1,130,409	
	天然ガス（CNG）	781		2.22	1,734	
合 計					7,514,951	

※単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合があります。

※ガソリン、軽油、LPGは施設と公用車の排出量の合計となります。

※電気の排出係数は、電気事業者により異なります。

4 活動項目別の二酸化炭素排出状況の比較

基準年（平成25年）度と、平成29年度の燃料等の使用量及び二酸化炭素排出量を比較すると、下表のとおりとなりました。（資料編参照P43～）

【燃料等種類別二酸化炭素排出状況の比較】

活動項目	単位	燃料等の使用量		二酸化炭素排出量(kg-CO2)				種類別割合 平成29年度		
		基準年度 平成25年度	平成29年度	基準年度(平成25年度)		平成29年度				
				排出係数	排出量	排出係数	排出量	対基準年度 増減率		
電気の使用	東京電力㈱	kWh	6,532,590	-	0.530	3,462,272	-	-	0.9%	73.9%
	東京電力エナジーパートナー㈱		-	3,676,791	-	-	0.486	1,786,920		
	昭和シェル石油㈱		1,427,493	-	0.377	538,165	-	-		
	㈱エネット		3,547,870	-	0.423	1,500,749	-	-		
	伊藤忠エネクス㈱		-	80,501	0.380	-	0.570	45,886		
	㈱F-Power		-	3,496,528	0.491	-	0.476	1,664,347		
	リエスパワー㈱		-	527,290	0.538	-	0.538	283,682		
	ミツロギ「リ・シェネギ」㈱		-	58,701	0.375	-	0.419	24,596		
	イーレックス㈱		-	1,151,732	0.500	-	0.501	577,018		
	丸紅新電力㈱		-	3,233,872	0.389	-	0.362	1,170,662		
	小計		11,507,953	12,225,415	-	5,501,186	-	5,553,110		
燃料の使用	ガソリン	L	65,788	69,847	2.32	152,627	-	162,046	6.2%	2.2%
	灯油		235,061	191,248	2.49	585,302	-	476,208	-18.6%	6.3%
	軽油		68,630	66,947	2.58	177,066	-	172,724	-2.5%	2.3%
	A重油		146,200	2,660	2.71	396,202	-	7,209	-98.2%	0.1%
	液化石油ガス(LPG)	m3	5,837	3,837	3.00	17,511	-	11,511	-34.3%	0.2%
	都市ガス(13A)		352,288	506,910	2.23	785,602	-	1,130,409	43.9%	15.0%
	天然ガス(CNG)		900	781	2.22	1,998	-	1,734	-13.2%	0.0%
	小計	-	-	-	2,116,308	-	1,961,840	-7.3%	26.1%	
合計	-	-	-	-	7,617,494	-	7,514,951	-1.3%	100.0%	

※単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

※対基準年度増減率=(平成28年度CO2排出量-基準年度CO2排出量)÷基準年度CO2排出量×100

※種類別割合=各燃料の平成28年度CO2排出量÷平成28年度CO2総排出量×100

電気の使用による二酸化炭素排出量の小計は、0.9%増加し、排出割合は、平成29年度の総排出量の73.9%（基準年度71.8%）を占めています。

一方、燃料の使用による二酸化炭素排出量は、小計で7.3%減少させることができました。燃料の種類別に比較すると、学校の冷暖房のほか、学校給食センター設備のエネルギー源転換などにより、A重油からの排出量を98.2%、液化石油ガス(LPG)からの排出量を34.3%、灯油からの排出量を18.6%、と、それぞれ減少させることができました。

また、前述の学校給食センター設備のエネルギー源転換や、ながぐつ児童館の放課後児童クラブ開設（平成28年度）などに伴い、都市ガスの使用量が43.9%増加してしまいましたが、A重油からの転換により、二酸化炭素係数が低いエネルギー源にすることができました。さらに、天然ガス(CNG)からの排出量は、リサイクルプラザのトラックをハイブリット車にしたことにより、13.2%減少させることができました。

5 削減目標の取組結果

本実行計画で掲げた削減目標に対する達成削減率は、次のとおりです。

【削減目標 ⇒ 達成削減率】〔P 4 4 資料 1 削減計画内訳達成度 参照〕

(1) 市施設の節電行動による $\Delta 41,449\text{kg-CO}_2$ (電気)、削減率 $\Delta 2.0\%$ ⇒ あやせ EMSによる進行管理：480,951kg-CO₂、約 23.2%の増加。(A)

(2) 本庁舎冷暖房施設機器の更新による $\Delta 104,171\text{kg-CO}_2$ (都市ガス)、削減率 $\Delta 40.0\%$ ⇒ 平成 27 年度に冷暖房施設機器更新済み。平成 29 年度：53,174kg-CO₂、達成削減率 $\Delta 20.4\%$ (B)

(3) 本庁舎の LED 照明化 (3,000 本) による $\Delta 101,776\text{kg-CO}_2$ (電気)、削減率 $\Delta 20.9\%$ ⇒ 平成 29 年度は取組なし。計画年度中の実施を目指す。

(4) 道路照明灯 50 基の LED 照明化による $\Delta 19,466\text{kg-CO}_2$ (電気)、削減率 $\Delta 3.0\%$ ⇒ 平成 29 年度に道路照明灯 27 基を LED 照明化。(平成 27 年度に 18 基、平成 28 年度に 10 基、計 55 基) 平成 29 年度：144,004 kg-CO₂、達成削減率 $\Delta 21.9\%$ (C)

(5) 学校給食センターの設備更新による $\Delta 113,591\text{kg-CO}_2$ (A 重油・LP ガス→都市ガス)、削減率 $\Delta 28.3\%$ ⇒ 平成 27 年度に設備更新済み。平成 29 年度：83,961 kg-CO₂、達成削減率 $\Delta 20.9\%$ (D)

(6) 削減目標：塵芥車 1 台のハイブリッド塵芥車更新による $\Delta 2,915\text{kg-CO}_2$ (軽油)、削減率 $\Delta 2.34\%$ ⇒ 平成 29 年度に トラック 1 台 をハイブリッドに更新： $\Delta 2,467\text{kg-CO}_2$ (軽油)、達成削減率 $\Delta 1.98\%$ (E)

合計 197,309 kg-CO₂ の増加 ⇒ 目標 383,368 kg-CO₂ 削減：目標達成率 $\Delta 51.5\%$

平成 29 年度は、保健福祉プラザの開所などにより、電気使用に伴う二酸化炭素排出量が増加しましたが、浄水管理センターが排出係数の小さい電気事業者と契約したことにより、二酸化炭素排出量は減少しています。

また、昨年度同様、本庁舎や学校給食センターの設備更新に伴い、燃料の使用量は減少しています。

6 今後の取組

燃料使用量については、基準年度と比較し使用量を削減することができています。

また、昨年度7.2%増加していた電気使用に伴う二酸化炭素排出量については、0.9%の増加に留まり、燃料使用及び電気使用に伴う二酸化炭素排出量の合計は、1.9%削減することができました。

電気使用量については増加したものの、使用量の多い浄水管理センターにおいて、排出係数の小さい電気事業者と契約したことで、二酸化炭素排出量を抑えることができました。

また、もみの木園において、部屋ごとに独立したエアコンに更新したことで、こまめに節電することができ、電気使用量を削減することができました。

しかし、特に、削減目標として掲げている施設について、放課後児童クラブ開設などに伴い電気使用量が増加し、目標を達成できておりません。目標達成のため、照明のLED化などの高効率照明への転換や省エネルギー設備の導入、太陽光発電設備などの新エネルギーを利用した設備の導入を進めるとともに、市民サービスを低下させることなく、節電などの省エネルギー行動を継続していく必要があります。

※計画策定時、平成25年度（基準年度）の二酸化炭素排出量の算出に、次のとおり誤りがありました。

【リサイクルプラザのLPガス排出量】

（誤）13,964.89m³

（正）13,964.89ℓ ⇒ 13,964.89m³ = 約14m³

これをもとに基準年度排出量を算出し、3.8%の削減目標を設定すると、目標達成状況は次のとおりとなります。

	年度	平成25年度 (基準年度)	平成29年度	平成31年度 (目標年度)
		排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)
誤	排出量	7,659	7,515	7,367
	基準年度比 (%)	—	△ 1.9	△ 3.8
正	排出量	7,617	7,515	7,328
	基準年度比 (%)	—	△ 1.3	△ 3.8

あやせ環境教育推進基本計画

—平成27年度～平成35年度—

平成29年度 取組結果

1 あやせ環境教育推進基本計画—平成27年度～平成35年度—の概要

市では、「環境基本計画」の環境の将来像VI「環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち」の中の基本目標の一つに「環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます」と定めており、あらゆる機会を活用して、子どもから大人までを対象とした環境教育・環境学習を進めることとしています。

本計画は、「環境基本計画」を受け、「環境教育等による環境保全の取組の推進に関する法律」第8条に基づき、平成27年3月に策定し、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるために、各種取組を推進するものです。

◇ あやせ環境教育推進基本計画の概要は以下のとおりです。

- **計画の位置づけ** 「綾瀬市環境基本条例」第13条に基づき、環境教育及び学習の振興並びに啓発活動の充実を図るとともに、「第2次綾瀬市環境基本計画」に掲げる、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるための計画とします。
- **対象期間** 平成27年度～平成35年度

2 平成29年度取組状況の把握方法

取組状況の把握は、**行動計画(アクションプラン)**として定めた49項目について、「綾瀬市役所環境マネジメントシステム(あやせEMS)」により所管課に照会し、取組実績を確認しました。

3 平成29年度の取組結果

アクションプラン49項目のうち46項目を目標どおり実行しました(資料編参照P50～)。

取組結果としては、4目標のうち2目標「(2)プログラム等の整備と活用」「(4)情報提供と相談体制の整備」のアクションプラン全8項目全てが「目標どおり」となったことから、アクションプランの実行により、計画で設定した次の「展開方向」を推進することができました。

(2) プログラム等の整備と活用：市民の環境に関する正しい理解を促進し、環境保全の取組へのきっかけづくりとするため、身近な場で活用できる環境教育プログラムを作成・普及します。

(4) 情報提供と相談体制の整備：本市における環境教育等を含む環境を守る取組に関し、情報を提供するとともに、市民等からの相談などに適切に対応します。

なお、環境教育プログラムについては、環境に関する活動を実施している市民団体や企業、学校等から情報を提供していただき、「綾瀬市環境学習プログラム集」の第3版として平成29年11月に発行しました(情報提供協力数：3市民団体、1事業所、1大学、市)。

さらに、環境啓発事業として、平成29年度は「あやせ環境展」を11月に開催し、432人の来場者を迎えて家庭や学校、職場、地域での環境保全活動への理解と支援を促進することができました。

また、この他、あやせ環境ネットワークなどの市民団体や事業所と連携し、体験型の啓発事業として、「ダムを学ぼう!」、「リサイクルの流れを知ろう!」、「ホテルの生態を知ろう!」、「ミニソーラークッカーをつくろう!」、「クリスマスリースをつくろう!」を開催し、延べ99人の参加がありました。講座としては「地球温暖化講座」や「中小企業向け(商工会対象)省エネ講座」を開催し、延べ28人の参加があり、通年で実施したこどもエコクラブ事業では19人のメンバーと活動することができました。

加えて、本アクションプランでは、市内小中学校において36項目の行動を設定していますが、平成29年度は、学校ごとに工夫を加え、児童・生徒に指導することができました。

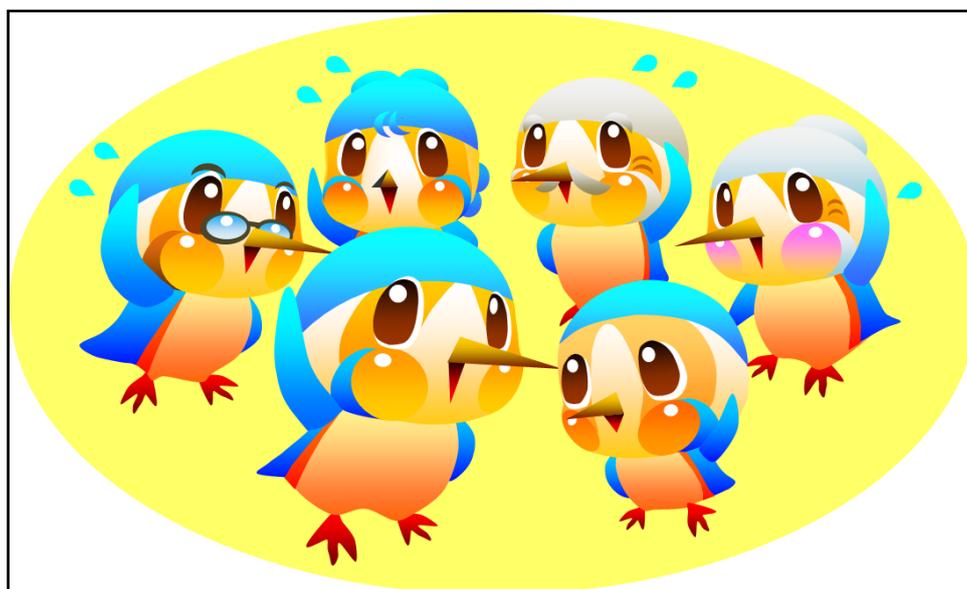
4 今後の取組

平成29年度は、「(1)人材の育成と活用」の目標において、アクションプラン4項目中1項目(地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加)が「一部未達成」となりました。この目標の展開方向である「環境保全に関する専門的な知識を持った指導者の育成・活用と、学校等教職員の指導力向上に努めます。」を実現するため、市民団体へ講座の周知を徹底し、環境教育における指導者の育成を推進します。

また、「(3)参加の場や機会づくり」の目標において、アクションプラン37項目中2項目(エコっと21事業所編の参加促進、カワセミ新聞の発行)を「ほぼ目標どおり」と評価しました。エコっと21事業所編の参加促進については、目標事業所数の約9割を達成しているため、カワセミ新聞の発行については、代替施策により環境情報発信の目的を果たしていると判断したためです。「(3)参加の場や機会づくり」の展開方向「年齢や環境への関心の程度に応じた、環境教育の機会を提供します。」については、概ね目標どおり推進していますが、引き続き、エコっと21事業所編の参加事業所目標数達成に向け、市内事業所へ訪問し、案内チラシを配付しながら説明するなどして、取組を推進していく必要があります。

また、市立小・中学校における行動計画についても、引き続き、推進する必要があります。

さらに、「綾瀬市環境学習プログラム集」の内容を定期的に更新し、情報提供することで、環境保全の取組へのきっかけづくりを推進する必要があります。



**あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを实践し、安全なまちづくりを進める
～あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして～
平成29年度 環境指標結果**

環境の将来像 I	9指標
----------	-----

○	6指標
△	2指標
×	1指標

※ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち(自然共生社会の構築)

基本目標 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます【動植物】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
1	1	あやせ生物多様性行動指針の 策定と推進	平成27年度まで に策定 その後指針に基 づいて推進	推進	環境保全課	未策定	×
2	2	長峰の森等生物生育・生息地 の指定	2箇所(H32)以上	調整	みどり公園課	調整	○

基本目標 ② 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします【市民】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
3	3	緑被率	33.7%(H32) を維持	33.70%	都市計画課	36.45%(H22)	○
4	4	緑地の確保	434.3ha(H32) 以上	413.4ha	みどり公園課	404.03ha	△

基本目標 ③ カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります【市民】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
5	5	湧水の整備箇所	1箇所	1箇所	みどり公園課	調整	△
6	6	水辺環境の整備への満足度	50%(H32)以上	48.0%		55.0%	○

基本目標 ④ 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます【農地】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
7	7	農用地面積	132ha(H32) の維持	146ha	農業振興課	152ha	○
8	8	市内農業体験農園利用者数	300人(H32) 以上	300人		331人	○
9	9	食育に関心のある人の割合	70%(H32)以上	60.8%	健康づくり推進課	70.1%	○

環境の将来像 II	9指標
-----------	-----

○	8指標
△	1指標
×	0指標

※ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち(生活環境の保全・改善)

基本目標 ① 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします【大気】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
10	1	大気の汚染に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内	環境保全課	調査実施	○
11	2	有害大気汚染物質に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内		調査実施	○
12	3	ダイオキシン類に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内		調査実施	○

基本目標 ② さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります【河川】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
13	4	河川水質の環境基準 (生活環境項目)	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内	環境保全課	調査実施	○
14	5	地下水の水質汚濁に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内		調査実施	○
15	6	ダイオキシン類に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内		調査実施	○
16	7	生活排水処理率	98.6%(H33) 以上	98.4%	リサイクルプラザ	96.6%	△

基本目標 ③ 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします【騒音】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
17	8	航空機騒音に係る環境基準	環境基準の達成	環境基準値以内	基地対策課	調査実施	○
18	9	騒音に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	環境基準値以内	環境保全課	調査実施	○

環境の将来像Ⅲ	10指標
----------------	------

○	5指標
△	5指標
×	0指標

※歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち(文化・都市環境の形成)

基本目標 ① 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます【文化財】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
19	1	市内指定文化財件数	15件(H32)以上	14件	生涯学習課	14件	○
20	2	文化財保護啓発事業の開催数	4事業	3事業		5事業	○

基本目標 ② 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります【景観】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
21	3	市民一人当たりの公園面積	8.1㎡(H32)以上	6.59㎡	みどり公園課	6.52㎡	△
22	4	市内の緑と公園に満足している市民の割合	52%(H32)以上	49.0%		56.6%	○

基本目標 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します【交通】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価	
23	5	公共交通機関(バス) 利用満足度	50%(H32)以上	48.0%	都市計画課	22.4% (H28)	△
24	6	路線バス利用者数	12,700千人 (H32)以上	12,100千人		11,460千人 (H28)	△

基本目標 ④ オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます【防災】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価	
25	7	緑地の確保【基本目標 I -2】	434.3ha(H32) 以上	413.4ha	みどり公園課	404.03ha	△
26	8	農用地面積【基本目標 I -4】	132ha(H32)の 維持	146ha	農業振興課	152ha	○

基本目標 ⑤ ごみが散乱しないきれいなまちにします【不法投棄】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価	
27	9	まち美化マナー宣言登録者数	累計2,000人 (H32)以上	1,650人	環境保全課	1,153人	△
28	10	環境衛生対策の満足度	80%(H32)以上	60%		63.6%	○

環境の将来像Ⅳ	4指標
----------------	-----

○	1指標
△	3指標
×	0指標

ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち(循環型社会の構築)

基本目標 ① 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します【ごみ】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価	
29	1	市民1人1日あたりの家庭から のごみ排出量	662g/人・日 (H33)以下	672g/人・日	リサイクルプラザ	630g/人・日	○
30	2	事業系ごみの減量化(排出量)	2,562t(H33) 以下	3,097t		4,712t	△
31	3	焼却処理されるごみ量	15,000t(H33) 以下	16,718t		18,564t	△

基本目標 ② 資源を大切に、再使用や再生利用を進めます【リサイクル等】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価	
32	4	リサイクル率	40%(H33)以上	35.2%	リサイクルプラザ	28.4% (H28)	△

環境の将来像Ⅴ	2指標
----------------	-----

○	2指標
△	0指標
×	0指標

※地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち(低炭素社会の構築)

基本目標 ① 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます【省エネ】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
33	1	地球にやさしい生活を実践している市民の割合	75%(H32)以上	73%	環境保全課	76.2%(H28)	○

基本目標 ② 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます【創エネ】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
34	2	補助金助成により設置された住宅用太陽光発電設備の出力	4,300kW(H32)以上	2,600kW	環境保全課	・29年度: 243.57kW ・累計: 4401.98kW	○

環境の将来像VI	5指標	○	3指標
		△	2指標
		×	0指標

※環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち(協働社会の構築)

基本目標 ① 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます【育成】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
35	1	(仮称)あやせ環境教育推進基本計画の策定と推進	平成26年度策定 その後計画に基づき推進	推進	環境保全課	推進	○

基本目標 ② 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます【4者】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
36	2	あやせエコっと21家庭編(応募家庭数)	1,000家庭以上	720家庭	環境保全課	・節電:214世帯 ・マイバック:446世帯 ・家電買換え:15世帯 計675世帯	△

基本目標 ③ 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます【事業者】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
37	3	あやせエコっと21事業所(登録事業所)※	100事業所	69事業所	環境保全課	29年度:2事業所 累計:47事業所	△

基本目標 ④ 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます【情報】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成29年度 目標値	管理担当課	平成29年度 実績	評価
38	4	環境報告書の発行	年1回	年1回	環境保全課	12月に発行	○
39	5	環境情報の発行	年1回	年1回		7月に発行	○

※行動計画、教育計画で目標値を見直しています。

【 資料編 】

(2) 第2期綾瀬市環境行動計画

環境の将来像Ⅰ					総合評価	
豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち (自然共生社会の構築) ※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」					◎	11
全13項目のうち、◎11項目、△2項目となりました。 基本目標④について、すべての項目を目標どおり達成できました。 基本目標①については、生物多様性に関する調査などを新たに実施することで、里地里山の良好な生物生息環境の確保を推進します。					○	0
					△	2
					×	0
基本目標 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます					評価	
全3項目のうち、◎2項目、△1項目となりました。 あやせ生物多様性行動指針の策定については、環境施策調整会議で策定しないこととなりましたが、今後は生物多様性に関する調査を実施し、生物多様性保全に向けた取組を進めていきます。					◎	2
					○	0
					△	1
					×	0
行動内容		平成28年度	平成29年度	取組実績	評価	
方針(1)綾瀬の生物を知る、生物多様性を守り、育む						
1	1	あやせ生物多様性行動指針の策定	先進事例 情報収集	先進事例 情報収集	H28：あやせ環境展で 講演会（6月）、 麻布大学で開催され た生物多様性講座に 参加（2月） H29：環境施策調整会 議で指針を策定しな いと決定、県計画の 情報収集	◎
			◎	◎		
方針(2)カワセミやホタルなど綾瀬に生育・生息する生物を調べ、健全な生態系を育む						
2	2	生物の生育・生息状況調査	1回以上	1回以上	H28：目久尻川で水質 検査と水生生物調査 を実施（7月） H29：ほたる鑑賞会 （6月）	◎
			◎	◎		
方針(3)都市に隣接した良好な里地里山の良好な生物生息環境を育み、つなぐ						
3	3	祖師谷緑地の保全	保全及び 指定準備	保全及び 指定準備	H28：情報収集・地権 者との調整 H29：情報収集	△
			△	△		
基本目標 ② 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします					評価	
全5項目のうち、◎4項目、△1項目となりました。 No.9-5「生垣奨励事業の推進」については、平成28年度には申請がありましたが、平成29年度は申請がなかったため、評価を「一部未達成」としました。緑化フェアや市のホームページなどで情報提供し、周知に努めます。					◎	4
					○	0
					△	1
					×	0
行動内容		平成28年度	平成29年度	取組実績	評価	
方針(2)水辺の斜面林など里地里山環境を保全・再生する						
5	1	里山再生と持続可能な森づくり	緑地保全を 累計3か所 以上指定	緑地保全を 累計3か所 以上指定	H28：取内の森、長峰 の森、落合キツツキ の森など計9か所 H29：取内の森、長峰 の森、落合キツツキ の森など計9か所	◎
			◎	◎		
6	2	景観コンクール等による緑の景観の保全	年1回以上 (50人以上)	年1回以上 (50人以上)	H28：35人62作品の応募 H29：緑化フェアで箱 庭ガーデンの展示 (2,776人)	◎
			○	◎		

方針(3) 身近な緑をつくり、育てる						
7	3	緑地及び樹木の管理のための補助	40箇所 ◎	41箇所 ◎	H28：40箇所 H29：48箇所	◎
8	4	緑地保全地区の確保	117,310㎡ ◎	117,310㎡ ◎	H28：117,310㎡継続 H29：117,310㎡継続	◎
9	5	生垣推奨事業の推進	1人以上 ◎	1人以上 ×	H28：申請1件 H29：申請0件	△
基本目標③ カワセミなどが飛来し、ホテルが飛ぶ水に親しめる場をつくります						評価
行動内容は設定しないが環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。						
基本目標④ 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます						評価
全5項目のうち、◎5項目となりました。 No.13-2「農業ボランティア活動の推進」について、平成28年度は参加者が目標の約8割となったため「ほぼ目標どおり」となりましたが、平成29年度に目標を達成したため、評価を「目標どおり」とすることができました。						◎ 5 ○ 0 △ 0 × 0
行動内容		平成28年度	平成29年度	取組実績		評価
方針(1) 農地を保全し、農地の環境保全機能を向上する						
12	1	若手農業者、新規就農者の確保	1人以上 ◎	1人以上 ◎	H28：4人 H29：3人	◎
13	2	農業ボランティア活動の推進	年1回以上 (延べ320人) ○	年1回以上 (延べ320人) ◎	H28：援農ボランティア養成講座(2回延べ250人) H29：援農ボランティア養成講座(2回延べ360人)	◎
14	3	農用地利用集積制度の活用	利用斡旋40件以上 ◎	利用斡旋40件以上 ◎	H28：76件 H29：76件	◎
方針(2) 土と農と食とのふれあいを高める						
15	4	農地を通じた緑とふれあい場としての収穫祭の開催	年1回以上 (30,000人以上) (3事業者以上) ◎	年1回以上 (30,000人以上) (3事業者以上) ◎	H28：収穫祭の実施への支援(約31,000人、3事業者) H29：収穫祭の実施への支援(約32,000人、3事業者)	◎
16	5	学校給食への市内農畜産物の供給	20%以上 ◎	20%以上 ◎	H28：35% H29：37%	◎
環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち (生活環境の保全・改善) ※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」						総合評価
行動内容を設定しないため、評価なし。						
基本目標 ① 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします						評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。						
基本目標 ② ささまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります						評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。						
基本目標 ③ 航空騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住みよいまちにします						評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。						

環境の将来像Ⅲ						総合評価	
歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち (文化・都市環境の形成)							
※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」							
昨年度実績と比較し、基本目標③に改善が見られたことから「一部未達成」や「未達成」が少なくなり、総合評価は◎2項目、○1項目、△3項目、×1項目となりました。 文化や景観についての目標を達成することができています。 人と環境にやさしい交通体系の整備に向け、引き続き地権者や他課との調整を進めます。						◎	2
						○	1
						△	3
						×	1
基本目標 ① 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます						評価	
先進自治体取組例の調査研究を実施したため、◎1項目となりました。						◎	1
						○	0
						△	0
						×	0
行動内容		平成28年度	平成29年度	取組実績		評価	
方針(2) 綾瀬の歴史・文化とふれあい、知る							
22	1	癒しの音風景の検討・発見	研究	研究	H28:癒しの音体験教室を開催(8月) H29:先進自治体取組例の調査研究	◎	
			◎	◎			
基本目標 ② 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります						評価	
景観フォトコンテストに、22人77作品の応募があったため◎1項目となり、「目標どおり」とすることができました。						◎	1
						○	0
						△	0
						×	0
行動内容		平成28年度	平成29年度	取組実績		評価	
方針(2) 良好な街並みをつくる							
23	1	景観フォトコンテストの実施	年1回以上(20点以上)	年1回以上(20点以上)	H28:30人73作品の応募、表彰式を開催(2月) H29:22人77作品の応募、表彰式を開催(2月)	◎	
			◎	◎			
基本目標 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します						評価	
全5項目のうち、No.26-2「バスの乗り換え拠点の整備」が「未達成」となり、No.25-1「都市計画道路の整備」については「一部未達成」となり、総合評価は○1項目、△3項目、×1項目となりました。 地権者や他課との調整を引き続き行い、人と環境にやさしい交通体系の整備を進めます。						◎	0
						○	1
						△	3
						×	1
行動内容		平成28年度	平成29年度	取組実績		評価	
方針(1) 綾瀬を楽しみながら、環境にやさしく巡れるまちづくりをすすめる							
25	1	都市計画道路の整備	谷頭東山線・東山線・中郷大邸線	谷頭東山線・東山線・中郷大邸線	H28:地権者と合意に至らず H29:一部用地買収、整備工事実施(東山線)	△	
			×	△			
方針(2) 環境にやさしい交通利用をすすめる							
26	2	バスの乗り換え拠点の整備	駐輪場1か所	駐輪場1か所	H28:他課と調整中のため未達成 H29:他課と調整中のため未達成	×	
			×	×			
			取組内容の実現に向けて		引き続き調整する		

27	3	コミュニティバスの利用増加(H24年度比) (H24年度利用者数:173,895人)	5%増	6%増	H28:約4.3%増 (181,439人)※4号車ルート変更により4号車利用者数約45.9%増 H29:約5.8%増 (184,090人)※4号車ルート変更により4号車利用者数約145.9%増	○
方針(3) 環境にやさしい交通利用をすすめる						
28	4	市道のバリアフリー化	2路線	2路線	H28:市道3号線、411号線(買収完了)、市道761号線(工事完了) H29:343号線(一部工事完了)	△
29	5	自転車・歩行者道の整備	250m	300m	H28:68.6m工事完了 H29:一部用地買収、整備工事实施(東山線)	△
基本目標 ④ オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます						評価
行動内容は設定しないが、環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。						
基本目標 ⑤ ごみが散乱しないきれいなまちにします						評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。						
環境の将来像IV ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち (循環型社会の構築) ※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」						総合評価
総合評価は◎4項目、△3項目となりました。 「一部未達成」となった生ごみ処理容器購入費助成や家庭系ごみの減量化を進めるため、循環型社会の構築に向けて普及啓発活動を行い、ごみの分別を徹底します。						◎ 4 ○ 0 △ 3 × 0
基本目標① 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します						評価
全4項目のうち、No.32-1「生ごみ処理容器購入費助成」とNo.32-2「家庭系ごみの減量化」が「一部未達成」となり、全体としては◎2項目、△2項目となりました。 No.32-2「家庭系ごみの減量化」については、昨年度から改善したものの、平成29年度目標達成には至りませんでした。 引き続き、生活や事業によるごみの減量化への啓発を進めていきます。						◎ 2 ○ 0 △ 2 × 0
行動内容		平成28年度	平成29年度	取組実績		評価
方針(1) ごみの発生抑制と減量化を進める						
31	1	生ごみ処理容器購入費助成	年51基以上 △	年51基以上 △	H28:33基 H29:28基	△
32	2	家庭系ごみの減量化	1%削減 △	2%削減 △	H28:0.66%削減 H29:1.30%削減	△
33	3	マイバック等の持参啓発	年1回以上(1団体以上) (50人以上) ◎	年1回以上(1団体以上) (50人以上) ◎	H28:152人、366口 (エコっと21家庭編) レジ袋削減推進店:26店 H29:182人、446口 (エコっと21家庭編) レジ袋削減推進店:26店	◎

方針(2) 廃棄物の適正処理を進める					
行動内容	平成28年度	平成29年度	取組実績	評価	
34 4 中間処理施設での搬入物検査、環境測定の実施	年1回以上 ◎	年1回以上 ◎	H28：高座清掃施設組合ダイオキシンの立会い、搬入物検査立会い H29：高座清掃施設組合ダイオキシンの立会い、搬入物検査立会い	◎	
基本目標② 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます				評価	
全3項目のうち、No.39-2「ツカエルフェアの開催」について、より品質の高い再生家具を提供するために開催回数を2回に減少させたことにより「一部未達成」となり、全体としては◎2項目、△1項目となりました。 引き続き、資源の再使用や再利用を進めていきます。				◎	2
				○	0
				△	1
				×	0
行動内容	平成28年度	平成29年度	取組実績	評価	
方針(1) 循環型社会の構築を進める					
38 1 循環型社会構築に向けた拠点としての活用と活性化	事業1回以上 ◎	事業1回以上 ◎	H28：自治会3回、小学生3回 H29：おもちゃの病院24回、家具類補修教室5回、補修ボランティア養成講座5回	◎	
方針(2) 資源の再使用・再生利用を進める					
39 2 ツカエルフェアの開催	年4回以上 ◎	年4回以上 △	H28：4回 H29：2回	△	
40 3 ごみのリサイクル（本庁舎）	80%以上 ◎	80%以上 ◎	H28：82%、毎月10日間のごみの排出量に占めるリサイクル資源と可燃ごみの割合から推計 H29：84%、毎月10日間のごみの排出量に占めるリサイクル資源と可燃ごみの割合から推計	◎	
環境の将来像V 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち （低炭素社会の構築）				総合評価	
※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」					
総合評価としては◎13項目、○3項目、△3項目、×6項目となりました。 市役所の電気使用量や水道使用量を削減できなかったことを課題とし、省エネ診断を踏まえた設備更新の検討など、関係各課と協力しながら取り組みます。 また、目久尻川の水辺を活かした親水公園（クールスポット）の整備についても地権者の同意が得られなかったところですが、引き続き交渉を行い、低炭素型都市づくりを推進していきます。				◎	13
				○	3
				△	3
				×	6
基本目標① 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます				評価	
全18項目のうち、No.43-3「市役所の電気使用量の削減(平成25年度比)」など6項目が「一部未達成」や「未達成」となり、全体として◎9項目、○3項目、△1項目、×5項目となりました。 市役所の電気使用量や水道使用量の削減について努力をしているところではありますが、節電や節水だけでは限界があることから、省エネ診断を踏まえた設備更新を検討し、省エネを進めていきます。				◎	9
				○	3
				△	1
				×	5
行動内容	平成28年度	平成29年度	取組実績	評価	
方針(2) 省エネを進める					
41 1 電気自動車の導入補助	10件以上 ◎	10件以上 ◎	H28：12件 H29：15件	◎	

42	2	雨水貯留槽設置の助成	10件以上	10件以上	H28：5件 H29：0件（助成終了）	×
			△	×		
			取組内容の実現に向けて		問合せの際、助成はなくなったが省資源となる旨を説明し、設置促進に努める	
43	3	市役所の電気使用量の削減（平成25年度比）	2%削減	3%削減	H25：1,430,150kWh H28：1,469,252kWh(3%増) H29：1,440,583kWh(1%増)	×
			×	×		
			取組内容の実現に向けて		ライトダウンキャンペーンなどへの協力による節電や、LED照明導入に向けた調整を行う	
44	4	市役所の都市ガス使用量の削減（平成25年度比）	20%削減	30%削減	H25：116,784m ³ H28：89,451m ³ (23%削減) H29：92,939m ³ (20%削減)	○
			◎	△		
45	5	市役所の水道使用量の削減（平成25年度比）	2%削減	3%削減	H25：3,984m ³ H28：6,162m ³ (55%増) H29：5,158m ³ (29%増)	×
			×	×		
			取組内容の実現に向けて		維持管理の点検等で水を使用する際に極力少量で清掃を行うなど工夫する	
46	6	あやせエコっと21（事業編）への参加促進※	累計49事業所以上	累計51事業所以上	H28：44事業所 H29：46事業所	○
			○	○		
47	7	省エネや省資源活動に実績があった事業所への顕彰	1事業所以上	累計2事業所以上	H28：顕彰は行わないと決定 H29：環境報告書で事業所の取組を紹介	×
			×	×		
			取組内容の実現に向けて		事業所への省エネ普及啓発に関する他の方法を検討する	
48	8	市民・事業所でのクリーンエネルギーカーや燃費基準適合車の導入促進（電気自動車導入補助）	導入補助10件以上	導入補助10件以上	H28：12件 H29：15件	◎
			◎	◎		
方針(3) 低炭素型都市づくりを進める						
49	9	目久尻川の水辺を活かした親水公園（クールスポット）の整備	目久尻川親水公園の用地買収	目久尻川親水公園の用地整備	H28：詳細設計・検討会を実施。用地については5回交渉を行ったが、地権者の同意を得られず。 H29：地権者と調整（4回）	×
			×	×		
			取組内容の実現に向けて		引き続き交渉する	

50	10	街灯・道路照明のLED化の推進	累計30基以上	累計40基以上	H27：18基 H28：10基 H29：27基 計：55基	◎
			○	◎		
51	11	歩道や散策道など歩行者空間の整備	1路線	累計2路線以上	H28：市道3号線、411号線（買収完了）、市道761号線（工事完了） H29：一部用地買収、整備工事実施（東山線）	△
			◎	△		
52	12	自転車道やサイクリングコースの整備	研究	研究	H28：一部工事完了 H29：護岸改修を早期に実施するよう県に要請	◎
			◎	◎		
53	13	自転車走行ゾーンの検討と整備	1路線	累計2路線以上	H28：市道1号線（工事完了） H29：市道116号線（工事完了）	◎
			◎	◎		
54	14	透水性舗装の促進	200m	200m	H28：市道3号線、411号線（買収完了）、市道761号線（工事完了） H29：市道343号線（193m）	○
			△	○		
方針(4) 蓄エネなどによるエネルギーの有効利用を進める						
55	15	スマートエネルギー設備導入補助	30件以上	40件以上	H28：58件 H29：90件	◎
			◎	◎		
56	16	事業所における省エネ診断などの促進	1事業所以上	累計2事業所以上	H28：さがみ野工業団地協同組合対象省エネ講座（11月） H29：商工会対象省エネ講座（3月）	◎
			◎	◎		
57	17	事業所におけるEMS(エネルギーマネジメントシステム)導入の普及・支援	啓発年1回以上	啓発年1回以上	H28：事業所のEMS導入促進を掲載（6/1号広報）、エコっと21（事業所編）登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載 H29：事業所のEMS導入促進を掲載（2/1号広報）、エコっと21（事業所編）登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載	◎
			◎	◎		
58	18	事業活動温暖化対策計画届出制度の普及	啓発年1回以上	啓発年1回以上	H28：あやせ環境展（11月）で、事業者向け省エネ活動の普及啓発に関する展示 H29：あやせ環境展（11月）での展示のほか、2/1号広報あやせで啓発	◎
			◎	◎		

基本目標② 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます					評価	
全7項目のうち、No.64-5「公園でのハイブリッド照明灯等の導入」については「未達成」となり、その他2項目について「一部未達成」となったことから、◎4項目、△2項目、×1項目となりました。 引き続き、照明灯の省エネ化を検討するほか、住宅用及び共同住宅用太陽光発電設備設置補助について周知を強化することで、再生可能エネルギーの活用を進めます。					◎	4
					○	0
					△	2
					×	1
行動内容		平成28年度	平成29年度	取組実績	評価	
方針(1) 太陽光など再生可能エネルギーの活用を進める						
60	1	住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成100件以上	助成100件以上	H28：83件 H29：57件	△
			○	△		
61	2	共同住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成1件以上	助成1件以上	H28：1件 H29：0件	△
			◎	×		
62	3	事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成1件以上	助成1件以上	H28：5件 H29：1件	◎
			◎	◎		
63	4	市の施設への太陽光発電設備の導入	1施設以上	1施設以上	H28：太陽光パネル設置（綾南小） H29：太陽光パネル設置（保健福祉プラザ）	◎
			◎	◎		
64	5	公園でのハイブリッド照明灯等の導入	2基以上	2基以上	H28：ソーラー照明灯等を設置可能な箇所なし H29：高額のためLEDの導入を検討中	×
			×	×		
			取組内容の実現に向けて		引き続き設置箇所を検討する	
65	6	風力など未利用エネルギーに関する情報の収集と提供	情報収集	情報収集	H28：県からの通知等により、未利用エネルギーに関する情報収集 H29：県からの通知等により、未利用エネルギーに関する情報収集	◎
			◎	◎		
66	7	事業所での未利用エネルギー活用の検討	情報収集	情報収集	H28：県からの通知等により、再生可能エネルギーに関する情報収集 H29：県からの通知等により、再生可能エネルギーに関する情報収集	◎
			◎	◎		

環境の将来像VI					総合評価	
環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち (協働社会の構築)						
※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」						
評価対象の2目標について「目標どおり」となり、◎2項目とすることができました。					◎ 2 ○ 0 △ 0 × 0	
基本目標① 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます					評価	
行動内容は設定しないが、環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。						
基本目標② 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます					評価	
◎1項目となり、リサイクルプラザでツカエルフェアなどを開催することにより、環境学習拠点として活用することができました。 引き続きリサイクルプラザの活用を進めていきます。					◎ 1 ○ 0 △ 0 × 0	
行動内容		平成28年度	平成29年度	取組実績	評価	
方針(3) 環境交流と連携を深め、協働を進める						
68	1	環境学習拠点としての活用	事業実施 年4回以上	事業実施 年4回以上	H28：おもちゃの病院、家具類補修教室、補修ボランティア養成講座、ツカエルフェア実施 H29：おもちゃの病院24回、家具類補修教室5回、補修ボランティア養成講座5回、ツカエルフェア実施2回	◎
			◎	◎		
基本目標③ 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます					評価	
工場立地法市準則条例の制定について、手続きを進め、議会の承認を得ることができたため、◎1項目となりました。 今後は条例に基づき、事業活動における環境対策を進めます。					◎ 1 ○ 0 △ 0 × 0	
行動内容		平成28年度	平成29年度	取組実績	評価	
方針(2) 事業活動における環境対策を進める						
69	1	工場立地法市準則条例の制定	研究・情報 収集	研究・情報 収集、パブ コメの実施	H28：工場立地法担当者会議に出席(2回) H29：パブコメの実施、議会の承認	◎
			◎	◎		
基本目標④ 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます					評価	
環境教育推進基本計画アクションプランにより進行管理を実施。						

※環境指標から目標値を見直しています。

(空ページ)

【資料編】(3)第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

資料1 削減計画内訳達成度

施設名	29年度二酸化炭素排出量(kg-CO2)							29年度 排出量計	25年度 排出量計	
	A重油	灯油	都市 ガス	ガス リン	軽油	LP ガス	天然 ガス			電力
本庁舎(管財契約課)	0	0	207,254	0	0	0	0	700,123	907,377	798,593
綾北福祉会館(福祉総務課)	0	0	13,429	0	0	0	0	13,685	27,114	23,412
もみの木園(障がい福祉課)	0	0	0	0	0	1,324	0	17,013	18,338	23,044
本蓼川墓園(高齢介護課)	0	0	0	0	0	0	0	2,775	2,775	3,293
大上保育園(子育て支援課)	0	0	21,769	0	0	0	0	31,205	52,974	49,351
綾南保育園(子育て支援課)	0	0	26,365	0	0	0	0	29,478	55,844	50,184
保健医療センター	0	0	0	0	0	47	0	24,596	24,643	53,912
寺尾児童館(青少年課)	0	0	0	0	0	14	0	4,488	4,502	3,724
小園児童館(青少年課)	0	0	0	0	0	39	0	3,225	3,264	2,123
ながぐつ児童館(青少年課)	0	0	2,698	0	0	0	0	9,282	11,980	6,215
リサイクルプラザ	0	371	50,534	0	0	0	0	66,729	117,634	111,036
市内公園(みどり公園課)	0	0	0	413	0	0	0	174,825	175,239	169,950
道路照明灯(道路管理課)	0	0	0	0	0	0	0	513,955	513,955	657,960
道路補修(道路管理課)	542	0	0	0	0	168	0	0	710	767
浄水管理センター(下水道課)	0	0	0	0	0	70	0	1,110,064	1,110,133	1,534,575
上土棚中継ポンプ場(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	60,598	60,598	84,757
マンホールポンプ(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	36,187	36,187	38,780
流量計2基(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	23	23	25
消防本部(消防総務課)	0	0	0	0	0	4,086	0	66,877	70,963	81,849
消防北分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	2,231	0	24,177	26,407	21,697
消防南分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	2,426	0	33,427	35,852	43,039
中央分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	1	0	1,131	1,133	1,230
綾北分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	3	0	1,482	1,485	1,490
寺尾分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,015	1,015	1,174
早園分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	4	0	1,134	1,138	1,093
綾西分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	3	0	1,562	1,565	1,295
綾南分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	12	0	905	917	1,386
綾瀬小学校	0	0	42,713	0	0	1	0	144,309	187,024	118,574
綾北小学校	0	0	0	65	0	33	0	70,982	71,080	62,757
綾西小学校	0	0	56,664	181	0	74	0	96,816	153,736	112,918
早園小学校	0	0	65	46	0	0	0	70,755	70,866	52,935
綾南小学校	0	0	80	63	0	0	0	86,821	86,964	58,637
天台小学校	0	0	56	58	0	0	0	102,541	102,655	57,800
北の台小学校	0	69,720	0	93	0	56	0	73,752	143,621	152,139
落合小学校	0	62,250	0	19	0	48	0	60,436	122,753	108,848
土棚小学校	0	3,421	47,214	70	0	0	0	66,399	117,104	112,544
寺尾小学校	0	69,262	0	46	0	254	0	80,248	149,810	119,919
綾瀬中学校	0	91,806	0	46	0	128	0	114,324	206,305	158,650
綾北中学校	0	24,900	0	70	0	56	0	167,821	192,847	229,196
城山中学校	0	26,130	0	93	0	29	0	116,804	143,056	181,165
北の台中学校	0	109,560	0	139	0	117	0	126,994	236,810	178,666
春日台中学校	0	1,623	0	93	0	63	0	135,571	137,350	135,470
学校給食センター	6,667	0	310,153	0	0	0	0	149,772	466,592	565,262
適応指導教室(教育研究所)	0	0	0	0	0	0	0	2,528	2,528	2,717
文化財収蔵庫(生涯学習課)	0	174	0	0	0	43	0	1,991	2,208	2,727
市民スポーツセンター(スポーツ課)	0	0	85,848	0	0	0	0	283,682	369,530	358,491
市民文化センター(文・中・図・高福含む)	0	0	171,532	0	0	0	0	418,177	589,708	509,667
中村地区センター	0	0	0	0	0	51	0	21,413	21,464	18,394
早園地区センター	0	0	0	0	0	43	0	5,867	5,910	5,452
吉岡地区センター	0	0	0	0	0	35	0	9,829	9,863	9,928
綾南地区センター	0	8,869	0	0	0	3	0	23,641	32,514	31,895
北の台地区センター	0	8,120	0	0	0	40	0	22,011	30,170	29,580
寺尾いずみ会館	0	0	45,920	0	0	0	0	55,670	101,590	73,872
南部ふれあい会館	0	0	47,764	0	0	0	0	47,691	95,455	73,959
神崎遺跡資料館	0	0	0	0	0	0	0	7,123	7,123	-
綾西高齢者憩いの家	0	0	0	0	0	0	0	3,788	3,788	-
保健福祉プラザ	0	0	350	0	0	0	0	55,394	55,744	-
管財契約課管理公用車	0	0	0	84,316	6,029	0	0	0	90,344	99,243
リサイクルプラザ管理公用車※	0	0	0	4,185	122,308	11	1,734	0	128,238	172,874
道路課管理公用車	0	0	0	4,463	8,151	0	0	0	12,614	17,721
消防総務課管理公用車	0	0	0	67,589	36,236	0	0	0	103,825	81,394
合計	7,209	476,208	1,130,409	162,046	172,724	11,511	1,734	5,553,110	7,514,951	7,659,347

※基準年度である平成25年度のLPガス使用量に誤りがありました。計画値は変更しません。
・小数点以下は四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

25・29年度比較		削減目標				29年度目標達成値						
増減率 %	増減量 kg-CO2	削減内容	削減率 %	削減 kg-CO2	達成時 kg-CO2	合計 kg-CO2	削減率 %	削減 kg-CO2	合計達成 成率%	合計達成量 kg-CO2		
14%	108,784	都市ガス△40%	-40.0%	104,171	156,257		㉞-20.4%	53,174	67.4%	-50,997		
		節電行動 ^㉞	-2.0%	10,763		581,883	30.1%	-161,958				
		照明器具3,000本をLED化	-20.9%	101,776	425,626		0.0%	0	35.5%	-274,498		
15.8%	3,702	節電行動 ^㉞	-2.0%		257	12,576	23,155	6.6%	-852	-15.6%	-14,538	
-20.4%	-4,706				436	21,357	22,608	-21.9%	4,780	114.1%	3,020	
-15.8%	-519				66	3,228	3,228	-15.8%	519	114.0%	453	
7.3%	3,623				589	28,879	48,761	5.9%	-1,737	16.6%	-24,095	
11.3%	5,660				545	26,686	49,639	8.3%	-2,248	-9.3%	-29,158	
-54.3%	-29,269				1,075	52,668	52,837	-54.2%	29,147	153.2%	28,025	
20.9%	778				74	3,637	3,650	20.9%	-776	76.2%	-864	
53.7%	1,140				40	1,948	2,084	62.2%	-1,237	32.4%	-1,316	
92.7%	5,765				112	5,468	6,104	66.3%	-3,702	-19.1%	-6,512	
5.9%	6,598				1,226	60,056	109,810	8.9%	-5,447	4.1%	-57,578	
3.1%	5,288						169,950			96.9%	-5,288	
-21.9%	-144,004			道路照明灯50本をLED化	-3.0%	19,466	638,494	638,494	㉞-21.9%	144,004	119.5%	124,538
-7.4%	-57							767			107.4%	57
-27.7%	-424,442					1,534,575			127.7%	424,442		
-28.5%	-24,159					84,757			128.5%	24,159		
-6.7%	-2,593					38,780			106.7%	2,593		
-8.3%	-2					25			108.3%	2		
-13.3%	-10,886	節電行動 ^㉞	-2.0%		1,538	75,379	80,311	-13.1%	10,040	111.6%	9,348	
21.7%	4,710				385	18,875	21,312	25.5%	-4,916	76.1%	-5,095	
-16.7%	-7,186				818	40,084	42,221	-18.3%	7,475	115.1%	6,368	
-7.9%	-97				25	1,202	1,205	-7.8%	96	106.0%	73	
-0.3%	-5				30	1,453	1,460	-0.1%	1	98.3%	-25	
-13.5%	-159				23	1,147	1,150	-13.3%	156	111.7%	135	
4.1%	45				22	1,062	1,071	4.6%	-50	93.8%	-67	
20.9%	270				26	1,263	1,269	21.2%	-273	76.7%	-296	
-33.8%	-469				28	1,356	1,358	-34.6%	479	132.5%	441	
57.7%	68,450				1,847	90,517	116,726	56.2%	-51,945	39.8%	-70,297	
13.3%	8,323				1,219	59,734	61,538	16.5%	-10,029	84.5%	-9,542	
36.1%	40,818				1,447	70,879	111,472	33.9%	-24,491	62.1%	-42,264	
33.9%	17,931				1,018	49,882	51,917	39.0%	-19,855	63.5%	-18,949	
48.3%	28,328				1,149	56,324	57,487	51.1%	-29,348	48.7%	-29,477	
77.6%	44,855				1,127	55,225	56,673	82.0%	-46,190	18.9%	-45,982	
-5.6%	-8,519				1,343	65,827	150,796	9.8%	-6,581	104.8%	7,175	
12.8%	13,905				974	47,715	107,874	24.1%	-11,747	86.2%	-14,878	
4.1%	4,560				1,259	61,681	111,285	5.5%	-3,459	94.8%	-5,819	
24.9%	29,891				1,301	63,731	118,619	23.4%	-15,217	73.7%	-31,191	
30.0%	47,655				2,018	98,906	156,632	13.3%	-13,399	68.3%	-49,673	
-15.9%	-36,348				2,389	117,041	226,807	40.5%	-48,392	115.0%	33,960	
-21.0%	-38,109				1,728	84,694	179,436	35.2%	-30,381	120.3%	36,380	
32.5%	58,145				1,777	87,084	176,888	42.9%	-38,133	66.1%	-59,922	
1.4%	1,880		2,672	130,928	132,798	1.5%	-1,970	96.6%	-4,552			
-17.5%	-98,670	A重油、LPガスを都市ガスに変更	-28.3%	113,591	287,190 (164,481)	451,671	㉞-20.9%	83,961 42,577	94.8%	-14,921		
-7.0%	-189	節電行動 ^㉞	-2.0%		54	2,657	2,663	-6.8%	183	105.1%	135	
-19.0%	-519				50	2,447	2,677	-20.3%	506	119.2%	469	
3.1%	11,039					358,491			96.9%	-11,039		
15.7%	80,041					509,667			84.3%	-80,041		
16.7%	3,070					18,394			83.3%	-3,070		
8.4%	458					5,452			91.6%	-458		
-0.6%	-64					9,928			100.6%	64		
1.9%	618					31,895			98.1%	-618		
2.0%	590					29,580			98.0%	-590		
37.5%	27,718					73,872			62.5%	-27,718		
29.1%	21,496					73,959			70.9%	-21,496		
-	-					9,928			128.3%	2,805		
-	-					3,759			99.2%	-29		
-	-					131,236			157.5%	75,492		
-9.0%	-8,898					99,243			109.0%	8,898		
-25.8%	-44,636	塵芥車(軽油)1台をハイブリッド化	軽油 -2.34%	2,915	121,860 (48,099)	169,959	㉞-1.98%	2,467	124.5%	41,721		
-28.8%	-5,106					17,721			128.8%	5,106		
27.6%	22,430					81,394			72.4%	-22,430		
-1.9%	-144,396					383,368			97.0%	-94,049		

(p25 5(1)) ㉞: 節電行動設定施設の電力使用に係る平成29年度kg-CO2の合計(2,553,400kg-CO2) ÷ 節電行動設定施設の電力使用に係る平成25年度kg-CO2の合計(2,072,449kg-CO2) ※
=約23.2%増 ※電力使用による二酸化炭素排出量から集計(p45参照)

参考資料

活動項目別・施設別使用量及び二酸化炭素排出量

※ 単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

【A重油】

二酸化炭素排出係数：2.71

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
道路補修 (道路管理課)	200	200	0	542	542	0	0.0%
学校給食センター	146,000	2,460	-143,540	395,660	6,667	-388,993	-98.3%
合計	146,200	2,660	-143,540	396,202	7,209	-388,993	-98.2%

【灯油】

二酸化炭素排出係数：2.49

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
小園児童館 (青少年課)	40	0	-40	100	0	-100	-100.0%
リサイクルプラザ	243	149	-94	605	371	-234	-38.7%
小学校10校	86,553	82,190	-4,363	215,517	204,653	-10,864	-5.0%
中学校5校	141,814	102,016	-39,798	353,117	254,020	-99,097	-28.1%
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	90	70	-20	224	174	-50	-22.2%
地区センター2館	6,321	6,823	502	15,739	16,989	1,250	7.9%
合計	235,061	191,248	-43,813	585,302	476,208	-109,094	-18.6%

【都市ガス】

二酸化炭素排出係数：2.23

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
本庁舎 (管財契約課)	116,784	92,939	-23,845	260,428	207,254	-53,174	-20.4%
綾北福祉会館 (福祉総務課)	4,744	6,022	1,278	10,579	13,429	2,850	26.9%
大上保育園 (子育て支援課)	8,916	9,762	846	19,883	21,769	1,887	9.5%
綾南保育園 (子育て支援課)	10,293	11,823	1,530	22,953	26,365	3,412	14.9%
ながぐつ児童館 (青少年課)	285	1,210	925	636	2,698	2,063	324.6%
リサイクルプラザ	22,040	22,661	621	49,149	50,534	1,385	2.8%
小学校6校	47,733	65,826	18,093	106,445	146,792	40,347	37.9%
学校給食センター	0	139,082	139,082	0	310,153	310,153	皆増
市民スポーツセンター (スポーツ課)	35,138	38,497	3,359	78,358	85,848	7,490	9.6%
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	77,290	76,920	-370	172,357	171,532	-825	-0.5%
寺尾いずみ会館	15,281	20,592	5,311	34,077	45,920	11,844	34.8%
南部ふれあい会館	13,784	21,419	7,635	30,738	47,764	17,026	55.4%
保健福祉プラザ	0	157	157	0	350	350	皆増
合計	352,288	506,910	154,622	785,602	1,130,409	344,807	43.9%

【ガソリン】

二酸化炭素排出係数： 2.32

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり公園課)	379	178	-201	880	413	-467	-53.0%
小学校10校	322	276	-46	748	640	-107	-14.4%
中学校5校	181	190	9	419	441	21	5.1%
公用車	64,905	69,203	4,298	150,580	160,552	9,972	6.6%
合計	65,788	69,847	4,060	152,627	162,046	9,419	6.2%

【軽油】

二酸化炭素排出係数： 2.58

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり公園課)	119	0	-119	307	0	-307	-100.0%
公用車	68,511	66,947	-1,564	176,759	172,724	-4,034	-2.3%
合計	68,630	66,947	-1,683	177,066	172,724	-4,341	-2.5%

【LPガス】

二酸化炭素排出係数： 3.00

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
もみの木園 (障がい福祉課)	417	441	24	1,251	1,324	73	5.9%
保健医療センター	56	16	-41	169	47	-122	-72.1%
児童館2館	16	18	2	49	53	5	9.3%
道路補修 (道路管理課)	75	56	-19	225	168	-57	-25.3%
浄水管理センター (下水道課)	47	23	-24	141	70	-71	-50.6%
消防本部 (消防総務課)	1,644	1,362	-282	4,932	4,086	-846	-17.2%
消防北分署 (消防総務課)	812	744	-69	2,437	2,231	-206	-8.5%
消防南分署 (消防総務課)	712	809	96	2,137	2,426	289	13.5%
分団6車庫 (消防総務課)	10	8	-2	30	23	-7	-22.2%
小学校6校	54	155	101	162	466	304	187.1%
中学校5校	124	131	8	371	393	23	6.2%
学校給食センター	1,707	0	-1,707	5,121	0	-5,121	-100.0%
適応指導教室 (教育研究所)	2	0	-2	6	0	-6	-100.0%
文化財取蔵庫 (生涯学習課)	2	14	12	6	43	37	610.0%
市民スポーツセンター (スポーツ課)	46	0	-46	138	0	-138	-100.0%
地区センター5館	99	57	-42	296	171	-125	-42.3%
小計	5,823	3,833	-1,990	17,469	11,500	-5,969	-34.2%
公用車 ※	14	4	-10	42	11	-31	-73.8%
合計	5,837	3,837	-2,000	17,511	11,511	-6,000	-34.3%

※ 計画時、平成25年度の使用量に誤り (誤) 13,965.0m³ ⇒ (正) 13,965m³ = 約14m³
 合計 (誤) 19,788.0m³ ⇒ (正) 5,837.000m³

【天然ガス】

二酸化炭素排出係数： 2.22

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
公用車	900	781	-119	1,998	1,734	-264	-13.2%
合計	900	781	-119	1,998	1,734	-264	-13.2%

【電力】

施設名	使用量 (kWh)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)		
	25年度 (基準年度)	29年度	対基準年度 増減量	25年度(基準年度)		
				電力事業者	排出係数	排出量
本庁舎(管財契約課)	1,427,493	1,440,583	13,090	昭和シェル石油株	0.377	538,165
綾北福祉会館(福祉総務課)	24,213	28,158	3,945	東京電力株	0.530	12,833
もみの木園(障がい福祉課)	41,119	35,007	-6,112			21,793
本蓼川墓園(高齢介護課)	6,214	5,709	-505			3,293
大上保育園(子育て支援課)	55,600	64,207	8,607			29,468
綾南保育園(子育て支援課)	51,378	60,655	9,277			27,230
保健医療センター	101,402	58,701	-42,701			53,743
児童館3館(青少年課)	21,281	34,967	13,686			11,279
リサイクルプラザ	115,626	123,388	7,762			61,282
		(42,887)				
		(80,501)				
市内公園(みどり政策課)	318,421	359,723	41,302			168,763
道路照明灯(道路管理課)	1,241,434	1,057,522	-183,912			657,960
浄水管理センター(下水道課)	2,895,159	3,066,474	171,315			1,534,434
上土棚中継ポンプ場(下水道課)	159,919	167,398	7,479			84,757
マンホールポンプ(下水道課)	73,170	74,459	1,289			38,780
流量計2基(下水道課)	48	48	0			25
消防本部(消防総務課)	145,127	137,607	-7,520			76,917
消防北分署(消防総務課)	36,340	49,746	13,406			19,260
消防南分署(消防総務課)	77,173	68,779	-8,394			40,902
分団6車庫(消防総務課)	14,410	14,875	465			7,637
小学校10校	1,499,289	1,792,144	292,855	株エネット	0.423	634,199
中学校5校	1,251,156	1,389,736	138,580			529,239
学校給食センター	310,342	314,648	4,306			164,481
適応指導教室(教育研究所)	5,115	5,201	86	東京電力株	0.530	2,711
文化財収蔵庫(生涯学習課)	4,711	4,096	-615	東京電力株	0.530	2,497
市民スポーツセンター(スポーツ課)	528,294	527,290	-1,004	東京電力株	0.530	279,996
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	797,425	834,684	37,259	株エネット	0.423	337,311
地区センター5館	149,460	166,872	17,412	東京電力株	0.530	79,214
内訳		(56,132)				
		(110,740)				
寺尾いずみ会館	75,086	111,117	36,031	東京電力株	0.530	39,796
南部ふれあい会館	81,548	95,191	13,643	東京電力株	0.530	43,220
神崎遺跡資料館	0	14,657	14,657	-	-	0
綾西高齢者憩いの家	0	7,794	7,794	-	-	0
保健福祉プラザ	0	113,979	113,979	-	-	0
合計	11,507,953	12,225,415	717,462			5,501,186

二酸化炭素排出量 (kg-CO2)				
29年度			対基準年度	対基準年度
電力事業者	排出係数	排出量	増減量	増減率
東京電力エナジー パートナー(株)	0.486	700,123	161,958	30.1%
		13,685	852	6.6%
		17,013	-4,780	-21.9%
		2,775	-519	-15.8%
		31,205	1,737	5.9%
		29,478	2,248	8.3%
ミツウロコグリーンエネルギー(株)	0.419	24,596	-29,147	-54.2%
東京電力エナジー パートナー(株)	0.486	16,994	5,715	50.7%
		66,729	5,447	9%
東京電力エナジー パートナー(株)	0.486	(20,843)		
伊藤忠エネクス(株)	0.570	(45,886)		
東京電力エナジー パートナー(株)	0.486	174,825	6,062	3.6%
		513,955	-144,004	-21.9%
丸紅新電力(株)	0.362	1,110,064	-424,371	-27.7%
		60,598	-24,159	-28.5%
東京電力エナジー パートナー(株)	0.486	36,187	-2,593	-6.7%
		23	-2	-8.3%
		66,877	-10,040	-13.1%
		24,177	4,916	25.5%
		33,427	-7,475	-18.3%
		7,229	-408	-5.3%
(株)F-Power	0.476	853,061	218,861	35%
		661,514	132,275	25%
		149,772	-14,709	-8.9%
東京電力エナジー パートナー(株)	0.486	2,528	-183	-6.8%
		1,991	-506	-20.3%
リエスパワー(株)	0.538	283,682	3,686	1.3%
イーレックス(株)	0.501	418,177	80,866	24.0%
		82,761	3,547	4.5%
東京電力エナジー パートナー(株)	0.486	(27,280)		
イーレックス(株)	0.501	(55,481)		
イーレックス(株)	0.501	55,670	15,874	39.9%
		47,691	4,470	10.3%
東京電力エナジー パートナー(株)	0.486	7,123	7,123	皆増
		3,788	3,788	皆増
		55,394	55,394	皆増
		5,553,110	51,924	0.9%

【 資料編 】

(4) あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）

※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%~」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」

(1) 人材の育成と活用:4項目				総合評価	
全4項目のうち、No.2「地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加」については、周知を図ったものの目標人数の参加が得られませんでした。 その他3項目については、環境に関する専門的な知識を持つ指導者の育成や活用、学校等教職員の指導力向上に取り組み、「目標どおり」実施しました。				◎	3
				○	0
				△	1
				×	0
ア 指導者の育成等	29年度	取組実績	評価		
① 学校等教職員の指導力向上					
1 教職員の環境に関する研修会等への参加	5人以上	小学校教頭会で研修(7月) 10人参加 自然環境調査研究会を毎月開催 50人以上参加	◎		
② 地域社会における指導者の育成					
2 地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加	3人以上	地球温暖化防止セミナー(2月) 1人参加	△		
イ 人材の活用(指導者等の活用)	29年度	取組実績	評価		
3 環境に関する知識を有する人材の活用による講座等の実施	3講座以上	ほたる鑑賞会(6月) ミニソーラークッカーをつくろう!(7月) クリスマスリースを作ろう!(12月)	◎		
4 学校等・地域・事業所等が開催する環境学習会等への講師派遣	3回以上	ほたる鑑賞会(6月) ソーラークッカーをつくろう!(7月) クリスマスリースを作ろう!(12月)	◎		
(2) プログラム等の整備と活用:6項目				総合評価	
学習教材やプログラム集を活用し、市民への環境保全に関する取組機会の提供に取り組み、6項目全てを「目標どおり」実施しました。				◎	6
				○	0
				△	0
				×	0
ア 教材・プログラムの整備	29年度	取組実績	評価		
5 発達段階、理解力、活動の場やテーマに応じ学習段階ごとのねらいを明らかにした体系的な環境教育プログラムの整備	補完	環境学習プログラム集第3版を発行(11月)	◎		
6 市民・市民団体の有するノウハウを活かした体験型環境教育プログラムの整備			◎		
7 学校等における環境問題が正しく理解できるように発達段階に応じた教材等の整備	2教材以上	「綾瀬の野草」及び「綾瀬市環境学習ハンドブックかわせみ」の改訂に向けた研究(11回)	◎		
イ 教材・プログラムの活用	29年度	取組実績	評価		
8 プログラムが有効活用されるよう、環境教育を担う指導者や教職員へのプログラムの情報提供	1回以上	保育園、幼稚園及び児童クラブに情報提供(8月)、環境展で補助金等について展示(11月)	◎		
9 環境教育に関する教材、書籍、DVD等の活用	2教材以上	「綾瀬の野草」「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ」を、小中学校の環境学習の際に活用	◎		

10	環境教育プログラム作成に伴う、市民・市民団体の協力	4団体以上	市民団体3団体、事業所1社、大学1校、市計6団体	◎
(3) 参加の場や機会づくり: 37項目				総合評価
全37項目のうち、No.42「エコっと21事業所編の参加促進」については2社の参加があり、目標に達しませんでした。約9割を達成しているため、「ほぼ目標どおり」と評価しました。また、No.45「カワセミ新聞の発行」については、広報あやせでの周知に変更したため、「一部未達成」と評価しました。				◎ 35
また、イベントや講座を通して、市民活動団体との連携や家庭での省エネの実践機会の提供も推進し、35項目を「目標どおり」実施しました。				○ 1
				△ 1
				× 0
ア 学校等における環境教育等の充実		29年度	取組実績	評価
① 幼稚園・保育園での環境教育の充実				
幼児が、周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うため、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムの幼稚園や保育所への導入を支援します。				
11	幼児が、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムを幼稚園や保育所へ提供	2園以上	保育園、幼稚園及び児童クラブに情報提供(8月) さくらチャイルドセンターでソーラークッカーの講座を開催(2月)	◎
環境の将来像Ⅰ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち				
基本目標Ⅰ-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます				
12	自然(草花)やいきものへの興味と愛着を持つことを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
基本目標Ⅰ-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます				
13	地産地消の給食を導入する	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち				
基本目標Ⅱ-2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります				
14	水の大切さを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち				
基本目標Ⅲ-5 ごみが散乱しないきれいなまちにします				
15	園児とともに、園内及び園庭など施設周辺の清掃の実施	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち				
基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します				
16	分別や資源の大切さを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち				
基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます				
17	省エネ行動(節電・節水)を学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
イ 家庭・地域社会における環境教育の充実		29年度	取組実績	評価
① 環境に関する学習機会の充実				
地球温暖化の防止、生物多様性の保全、健全な物質循環を課題として捉え、廃棄物などの身近なものから地球規模の環境課題まで広範囲にわたる内容とし、環境課題ごとの関連性についても理解できるような環境教育を展開します。				

知識や理解に実感を持たせ行動に結びつけるため、自然や暮らしの中での体験活動や実践体験を取り入れた、各種の体験型教室等を環境教育の中心に位置付け開催します。				
18	環境展等のイベントの実施	5回以上	緑化フェア(5月)、美化キャンペーン(5月)、エコっと(家庭編)キャンペーン(6-10月)、投棄防止キャンペーン(7月)、環境展(11月)	◎
19	体験学習等講座(教室)の実施	5回以上	野草観察会(4月)、ほたる観察会(6月)、ミニソーラークッカーをつくろう!(7月)、3R見学会(8月)、自然体験学習会(8月)、クリスマスリース作り(12月)	◎
② 市民団体との連携・協働と支援				
20	市民団体と連携・協働して各種教室等の実施	5回以上	あやせ環境ネットワークなどとの協力により講座を実施	◎
21	団体活動の支援	1団体以上	NPO法人ふるさと環境市民、綾瀬城山ほたる保存会	◎
ウ	事業所が行う環境教育等への支援	29年度	取組実績	評価
22	事業所対象の講座等の実施	1回以上	商工会対象省エネ講座(3月)	◎
23	従業員向けの環境教育プログラムの提供	1回	商工会対象省エネ講座(3月)で環境教育を支援	◎
24	事業所が実施する環境教育情報の提供	1回	商工会対象省エネ講座(3月)で環境教育や補助金申請を支援	◎
※	家庭・地域社会・事業者共通	29年度	取組実績	評価
環境の将来像 I 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち				
基本目標 I-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます				
25	生物多様性に係る情報の提供	2回以上	緑化フェア(5月)、環境展(11月)で生物多様性について情報提供 森から考える地球温暖化(3月)	◎
26	自然観察会・学習会など啓発活動の実施	2回以上	野草観察会(4月)、ほたる観察会(6月)、自然体験学習会(8月)、森から考える地球温暖化(3月)	◎
基本目標 I-2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします				
27	市内の自然や緑に関する情報の提供	1回以上	緑化フェア(5月)の開催	◎
基本目標 I-3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります				
28	河川等水辺の美化活動の実施	50人以上	目久尻川クリーンアップ大作戦(5月・10月)計60人参加	◎
基本目標 I-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます				
29	ふれあい農業体験の実施	1回以上	計9回30組参加	◎
30	地場農産物を活用した料理教室の実施	1回以上	計6回実施	◎
31	食育講座の実施	1回以上	保健福祉プラザで実施(10月) 38人参加	◎

環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち

基本目標Ⅱ-1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします

32	低公害車の普及・啓発事業の実施	1回以上	環境展(11月)で燃料電池車と電気自動車の試乗と電気自動車工作実施	◎
33	エコドライブの啓発事業の実施	1回以上	環境展(11月)で、エコドライブシミュレータの体験ブース設置	◎

環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち

基本目標Ⅲ-1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます

34	文化財保護啓発事業の実施	1回以上	神崎遺跡資料館での各種体験教室、環濠公開、歴史講演会、歴史めぐり	◎
----	--------------	------	----------------------------------	---

基本目標Ⅲ-4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます

35	自然災害への意識啓発事業の実施	1回以上	自主防災組織の防災訓練及び市総合防災訓練	◎
----	-----------------	------	----------------------	---

環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち

基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します

36	リデュース(ごみの発生抑制)の啓発	3回以上	自治会等研修会実績6回、自治会等施設見学会3回、「地区社協祭り」への出前講座1回 計10回	◎
----	-------------------	------	---	---

基本目標Ⅳ-2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます

37	3Rの普及・啓発事業の実施	4回以上	おもちゃの病院、家具類補充教室、補修ボランティア養成講座、ツカエルフェア	◎
----	---------------	------	--------------------------------------	---

環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち

基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます

38	エネルギーや地球温暖化に関する講座の実施	3回以上	EMS実行員研修(4月)、ミニソーラークッカーをつくろう!(7月)、施設管理者向けEMS研修(2月)、森から考える地球温暖化(3月)	◎
39	省エネ・創エネ体験などのエコイベントの実施	3回以上	ソーラークッカーをつくろう!(7月)、環境展(11月)、お日さま博士と遊ぼう見よう考えよう!(2月)	◎
40	エコっと21家庭編の参加促進	100人以上	参加者:289人	◎

環境の将来像Ⅵ 環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんな協働するまち

基本目標Ⅵ-1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます

41	公開講座「ふるさと学習」の実施	1回以上	小学生を対象としたわんぱくスクール「緑育教室」を開催(8月)綾瀬の伝承料理を学ぶ講座(12月)	◎
----	-----------------	------	---	---

基本目標Ⅵ-2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます

42	エコっと21事業所編の参加促進 ※①	51社以上	46社	○
43	農業理解に役立つ情報提供(広報紙等掲載)	1回以上	ふれあい農業体験収穫祭時、農業や畜産のPR資料を配布(12月)	◎

基本目標 VI-4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます					
44	環境関連報告書の発行	1回	平成28年度環境報告書発行(12月)	◎	
45	カワセミ新聞の発行	1回	市広報紙での周知に変更	○	
エ	市職員への環境教育の推進(環境政策課)	29年度	取組実績	評価	
46	あやせEMSの運用	不適合0	不適合0件	◎	
47	研修会の実施	1回以上	EMS実行員研修(4月)、施設管理者向けEMS研修(2月)	◎	
(4) 情報提供と相談体制の整備: 2項目				総合評価	
環境月間や環境都市宣言などの機会をとらえて、環境教育等を含む環境保全に関する情報の提供に取り組み、2項目全てを「目標どおり」実施しました。				◎	2
				○	0
				△	0
				×	0
ア	情報の提供	29年度	取組実績	評価	
48	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関し、広報あやせ、市ホームページや環境展等における情報提供	4回以上	環境月間の特集や美化活動、環境学習講座、環境展開催を広報に掲載	◎	
イ	相談、問合せへの対応	29年度	取組実績	評価	
49	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関する相談、問合せなどへの適切な対応	適宜	環境教育などのイベントに係る問い合わせなどへの対応を適宜実施	◎	

□ 小・中学校における行動計画:アクションプラン(学習指導要領)小学校14、中学校22、計36項目

(3) 参加の場や機会づくり—② 小学校・中学校での環境教育の充実(教育指導課)

各教科、道徳、総合的な学習の時間など、学校の教育活動全体を通して環境教育に取り組むよう指導します。

学習指導要領に基づき、地球温暖化対策(省エネルギー等)や資源循環(リサイクル等)、生物多様性の保全に関わる事項(生物多様性の重要性等)といった地球規模の環境問題と私たちの生活に関わりのあることなどを取り上げるよう指導します。

児童・生徒それぞれの発達の段階に応じた、環境に関する教育を実施します。実施にあたっては、児童・生徒が環境に関する正しい知識を習得するとともに、自ら体験することに重点を置いた指導に努めます。

地域の田畑、公園、緑地等を体験活動の場として、学校に応じて活用するよう指導します。

環境の将来像 I 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち

基本目標 I-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます		
1 2	小学校	身近な自然の観察
		生物間の食う食われるという関係などの生物と環境とのかかわりを学ぶ
1 2 3 4	中学校	自然環境の保全と科学技術の利用の有り方について学ぶ
		自然環境を調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを学ぶ
		自然環境保全の重要性を学ぶ
		地球温暖化、外来種を学ぶ

	基本目標 I-2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします	
3	小学校	自然環境を大切にすることを学ぶ
5	中学校	生物の育成環境と育成技術、生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育を学ぶ
	基本目標 I-3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります	
4	小学校	自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心をもち、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にすることを学ぶ
6	中学校	自然愛護を学ぶ
	基本目標 I-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます	
5	小学校	綾瀬の農業を学ぶ※②
	環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち	
	基本目標Ⅱ-1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします	
6	小学校	公害から健康や生活環境を守ることの大切さを学ぶ
7		公害の防止など環境の保全を学ぶ
8	中学校	放射線の性質と利用を学ぶ
9		地域の実態に即して公害と健康の関係を学ぶ
	基本目標Ⅱ-2 ささまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります	
7	小学校	綾瀬の水環境を学ぶ※②
	環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち	
	基本目標Ⅲ-1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます	
8	小学校	自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域について学ぶ
10	中学校	世界の人々の生活や環境の多様性を学ぶ
	基本目標Ⅲ-4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます	
9	小学校	国土の保全のための森林資源の働きや自然災害の防止を学ぶ
	基本目標Ⅲ-5 ごみが散乱しないきれいなまちにします	
10	小学校	自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、物の使い方などの工夫を学ぶ
11	小・中学校	美化標語・美化ポスターへ応募する※②
	環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち	
	基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します	
12	中学校	環境の保全に十分に配慮した廃棄物処理の必要性を学ぶ
	基本目標Ⅳ-2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます	
12	小学校	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ
13	中学校	自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫と実践を学ぶ

環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち		
基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます		
13	小学校	節水や節電などの資源の有効な利用を学ぶ
14	中学校	環境やエネルギーに関する課題を学ぶ
15		地球環境、資源・エネルギーなどの課題解決のための経済的、技術的な協力の大切さを学ぶ
16		日常生活や社会における様々なエネルギー変換の利用を学ぶ
17		人間は、水力、火力、原子力などからエネルギーを得ていること、エネルギーの有効利用の大切さを学ぶ
環境の将来像Ⅵ 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち		
基本目標Ⅵ-1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます		
14	小学校	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ
18	中学校	自然環境が地域の人々の生活や産業と関係をもっていることを学ぶ
19		持続可能な社会の構築のため、地域における環境保全の取組の大切さを学ぶ
20		持続可能な社会の形成の観点から解決すべき課題探求を学ぶ
21		持続可能な社会をつくることの重要性を学ぶ
22		技術の進展が資源やエネルギーの有効利用、自然環境の保全に貢献することを学ぶ

※①:環境指標から目標値を見直しています。

※②:市独自の取組

【 資料編 】

(5) 市民環境団体の活動報告 (50音順)

団体名	代表者
あやせ環境ネットワーク	中村 裕子
団体の目的・平成29年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 第2次綾瀬市環境基本計画の推進を図るため、市と連携して持続可能な社会づくりを目指し、活動しています。</p>	 <p>(日本大学生物資源科学部博物館視察)</p>
<p>【平成29年度の活動概要】 運営委員会の開催 各プロジェクトチームで啓発事業等を実施 ・小学生向けの講座（自然体験学習会） ・一般市民や事業所向けの講座（ごみ減量化啓発教室、地球温暖化防止講座） ・あやせエコクラブ ・調査研究事業（日本大学生物資源科学部博物館視察） ・あやせエコっと21（家庭編）キャンペーン</p>	

団体名	代表者
あやせくらしの会	大住 久江
団体の目的・平成29年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 消費者の日常生活に起こりうる、機能的食品や訪問販売などの様々な問題への対応について、検討を行う。</p>	 <p>(会員の写真)</p>
<p>【平成29年度の活動概要】 6月：市議会傍聴 9月：料理教室 10月：研修旅行 11月：環境展 12月：クリスマスリースを作ろう！ 1月：親睦会 3月：包括支援についての勉強会 今後の会の運営について会議</p>	

団体名	代表者
綾瀬城山ほたる保存会	吉田 誠
団体の目的・平成29年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 市内のホタルの保存活動を通して、豊かな都市環境を創造するため活動しています。</p>	 <p>(ホタル生息地整備)</p>
<p>【平成29年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生息地整備 ・ホタル飛翔期間中のホタルガイド ・観賞会の開催 ・ほたるボランティアセミナー開催によるボランティアの募集及びスキルアップ ・行事参加による普及啓発（市環境展、市民活動フェスタ等への出展） ・小学校の総合学習や各団体主催行事への講師派遣 など 	 <p>(ボランティアセミナー)</p>

団体名	代表者
あやせ緑普及会	川崎 敏布
団体の目的・平成29年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】</p> <p>ビジョン CO2（二酸化炭素）削減 コンセプト つる性植物の拡散化 （配布目標800本/年） ミッション 環境ネットワーク関係・個人関係・地域関係などから配布活動</p>	
<p>【平成29年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔓性植物や草花などの配布：約800本 ・ナタマメの種・ゴーヤの実の利用事業 <p>今年は、「ナタマメ茶づくり」体験事業を中心に活動推進しました。賛助会員様の庭を長期提供頂きナタマメ育成し「ナタマメ茶づくり」事業を実施。</p>	 <p>(活動の様子)</p>

団体名	代表者
落合キツツキの森管理委員会	福島 國美
団体の目的・平成29年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 緑の保全による地球温暖化の元凶、二酸化炭素の削減や、絶滅危惧種類野草保護による生物多様性の尊重。</p>	
<p>【平成29年度の活動概要】 三つの森の遊歩道整備と草刈りが年度を通しての奉仕活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野草観察会 ・サマーフェスタ（子供とそうめん流し） ・緑化フェアに参加 ・高校生ボランティア受け入れ（ウッドチップ散布作業） 	

(サマーフェスタの様子)

団体名	代表者
おもちゃの病院あやせ	岩渕 寿幸
団体の目的・平成29年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃの修理により、物を大切にする心を伝え、リサイクル意識の改善を推進する（リサイクル） ・おもちゃを通して、ドクターと子供たちのコミュニケーションを図る（地域参画） ・ドクターの技術向上と健康管理（生涯学習） 	
<p>【平成29年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第1・3日曜日 午後1時～午後3時 リサイクルプラザで開院しています。 ・24回の開院で226個おもちゃを受付。その内202個を修理完了し、返却。 ・たくさんの子供たちが、修理完了したおもちゃを手にして喜んでもらえることで、ドクターも元気を分けていただいています。 ・子供たちのおもちゃ修理もありますが、『お孫さん』に使わせたいとお持ち下さる、年配の方が多くいらっしゃる感じがします。これには、可能な限り対応しようと努力しております。 ・ドクター間の情報共有・ノウハウ交換を推し進めております。 ・平成29年9月には『TVK 猫のひたいほどワイド』の取材・放送していただき、たくさんの反響を頂きました。 	

(活動の様子)

団体名	代表者
地球チャイルド	松本 俊雅
団体の目的・平成29年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 未来の大人である子供たちが、この地球を大好きになってもらいたくて、自然と人とのつながりを体感出来る自然体験イベント。特に農業&食育体験を中心に、子供たちに提供することを目的としています。</p>	 <p>(稲刈り体験の様子)</p>
<p>【平成29年度の活動概要】 6月：水田で代かき体験&田植え体験 7月：相模川水質&生き物調べ体験(海老名市) 8月：藍の生葉染め体験 9月：おイモ掘りと焼きイモ体験 10月：稲刈り&お餅つき体験 11月：化石採取体験(大磯町) 1月：豆腐作り体験 2月：ソーセージ作り体験 3月：春の野草観察&野草料理体験</p>	

団体名	代表者
長峰の森管理委員会	内藤 英雄
団体の目的・平成29年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 長峰の森は市の「緑のネットワーク構想推進」の一として地権者、行政、ボランティア有志の方々の協力により平成12年自然公園としてスタートしました。運営は管理委員会が主体となり市みどり公園課の支援のもと活動しています。</p>	 <p>(「家族でサマーキャンプ in 長峰」の様子)</p>
<p>【平成29年度の活動概要】 綾瀬小学校、綾北中学校、綾瀬高校、綾瀬西高校、生蘭学園、日々輝学園、ボランティア等の団体が年間訪れて森の観察、維持管理を推進しています。上深谷老人クラブの皆さんも10年前からシイタケの栽培をしてBBQ会の憩いの場所として利用しています。 綾瀬青年会議所でも1泊2日の「家族でサマーキャンプ in 長峰」開催し、このイベントも恒例行事です。</p>	

団体名	代表者
NPO法人ふるさと環境市民	西 壽子
団体の目的・平成29年度の活動概要	
<p>【平成29年度の活動概要】</p> <p>1、環境学習出前講座 「ふるさとの宝をさがそう！博士大集合」 エネルギー、地球、もったいない、お日様、ふるさとの宝カルタ、ホテルの博士による出前授業。綾西小学校、北の台小学校、その他県内の小・中学校等で実施。（神奈川県からの受託事業他）</p> <p>2、市民提案型協働事業及び委託事業 ・もったいないを親子で学ぼう 「エコでおしゃれな新聞バックづくり」（リサイクルプラザとの協働事業） ・夏休み親子環境教室 「ミニソーラークッカーを作ろう」 「レモン電池でオルゴールをならそう」（環境政策課委託事業）</p> <p>3、きらめき補助金事業 「綾瀬のおもしろ七不思議」</p> <p>4、「ふるさとの宝カルタ」普及出前講座等 市役所、小・中学校、公民館などで実施</p> <p>5、つなごう みんなでふるさとの川 ・目久尻川クリーンアップ大作戦 5月・10月の年2回清掃活動 ・目久尻川ふれあいウォーク 12月実施 ・不法投棄ウッチング 目久尻川等の不法投棄物の監視・通報</p> <p>6、その他 ・あやせ緑化フェア実行委員会と展示（パネル展示、エコクイズ実施） ・綾瀬市環境プログラム事業実施「さくらチャイルドセンター」</p>	 <p style="text-align: center;">(活動の様子)</p>

【 資料編 】

(6) エコっと21 (事業所編) 登録事業所活動報告

登録番号 事業所名	取組の感想
第19-0003号 ㈱ワイ・ケー電子	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷低減活動として、井戸水を工業用水に活用して節水の効果を出す事ができました。 ・地域の自然環境との調和に配慮した海岸清掃を10年間継続して活動ができて持続可能な社会貢献となった。 ・社員一人ひとりが、省エネやリサイクルに関心を持ち、環境負荷低減活動を継続することでより良い社会が実現できると思います。
第19-0005号 ㈱横浜製作所	<p>平成29年度の電気の使用量の削減、廃棄物の排出費の削減は、売上げ増加に比例して目標値もオーバーしてしまいました。「本来業務の作業改善の取組」ですが、昨年度も削減目標には到達しませんでした。</p> <p>今年度は、段階的に工場内灯光器のLED化を進めていく予定です。引き続き環境負荷の低減を目指し活動していく所存です。</p>
第19-0008号 ㈱ラテン大和	<p>水質汚濁を始め、様々な点についての「法令による基準」を再度確認し、自主管理基準の設定見直しを点検中です。</p> <p>推進部隊の結成により、社員の意識も向上してきています。</p>
第20-0001号 相鉄バス(株) 綾瀬営業所	<p>平成29年度は、排ガスのクリーン化に役立つ尿素バス11両(低公害・高燃費アイドリングストップ車)を、代替導入いたしました。また、全運転士に対して、お客様並びに環境へ配慮した優しい運転を心がけ燃費向上を図るよう教育を行いました。(対28年度▲0.41%)</p> <p>平成30年度は、最新のクリーンディーゼルエンジンへモーターを一体化させたハイブリッドバスの導入を検討しております。</p>
第20-0002号 ㈱メイコー	<p>平成29年度は、工程別・部署別の分別見本を作成し、従業員全員に環境意識を強く持ってもらうよう取り組みました。また、一部照明のLED化を推進することができました。</p> <p>今後も新たな目標を立て、更に環境負荷の低減に努めていきたいと思えます。</p>
第20-0003号 ㈱東牧土木	<p>目標としている取組は、日常的になっています。</p> <p>今後も引き続き、環境負荷の低減に努めていきます。</p> <p>前年より、事務所の電球はLEDに交換しました。</p>
第20-0005号 (有)青柳商店	<p>環境意識を持って、取り組めるよう努めました。</p> <p>今後できる事は、取り組んでいきたいと思っています。</p>
第20-0006号 ㈱山勝	<p>当社は、経費削減の意味合いも含め、使用エネルギーの削減を恒常的に取り組んでいます。</p> <p>今回も、前年同様電気使用量や燃料使用量は「削減」の結果となりました。これは、企業努力としての使用しないトラックの削減や、使用しない設備の除却などの企業努力と、社員の経費削減意識の高まりに起因するものと判断しています。</p>

<p>第20-0007号 株栄和産業</p>	<p>平成29年度は、軽油使用のフォークリフト車をバッテリー車に入れ替えました。温暖化ガスの二酸化炭素（CO₂）の排出が少なく環境改善につながるので、除々にフォークリフト全車両をバッテリー車に入れ替える計画を立てました。これからも身近なところから見直し、環境改善活動に社員全員で取り組んでいきたいと思ひます。</p>
<p>第20-0008号 株タズミ</p>	<p>平成29年度は、焼却ゴミの中からの燃料化を推進し、自治体からの一般廃棄物・産業廃棄物や食品系製造事業所からの産業廃棄物等の燃料化を推進し、結果、11,575 tを再生固形燃料として販売し利用されました。</p> <p>また、環境負荷低減（地球温暖化防止対策等）の取組としては、最新規格の車両への切り替え、エコドライブやエコ操作は継続的に実施し効果を維持するとともに、大型車両の導入等による輸送効率の改善、工場部門では設備保全や原料バランス調整の工夫等で、生産性を維持、使用した電力や水は、原単位で効率的に運用することができました。</p> <p>さらに、事務用什器類の更新や備品の購入については、環境負荷の少ない製品（グリーン購入品など）の購入の拡大に継続して努めることができました。</p>
<p>第21-0001号 株KYOEI</p>	<p>平成29年度は、新たに工場屋根部全面に太陽光発電設備を設置し、エネルギー活用に取り組むことができました。また、使用済み用紙の裏面やその裏面を使用した後に裁断し、梱包用クッション材として使用し、極力廃棄しない活動が推進できました。</p> <p>今後も活動を継続、推進し、環境への配慮向上に努めます。</p>
<p>第24-0004号 株あやせ電気</p>	<p>環境意識には常に注意しています。今回、取組の感想に当たり、出来ることからより多くの目標に挑戦したいと思ひます。</p>
<p>第24-0005号 有)中電社</p>	<p>平成29年度は「資源循環・有効利用」を重点課題として取り組みました。工場見学で発生する廃棄物の分別収集に注力し、日々の努力で廃棄物の資源化を推進しています。</p> <p>また、LED化に伴い発生する水銀ランプ等の処理は、昨年10月の法改正を受け、委託処理業者と新規に契約を結び廃棄物の適正処理を遵守しております。LED照明導入にあたっては、従来どおり省エネソフトによるランニングコスト及びCO₂削減比較表でエネルギー効率の高い製品を提案しております。</p> <p>今後も環境負荷低減に向けた提案を積極的に行ってまいります。</p>
<p>第24-0006号 株かなしんオフセット</p>	<p>コピーの使用について、両面コピー以外に2枚を1枚に集約して印刷する事を推奨しております。</p> <p>環境負荷の低減については、節電、節水、作業トラブル削減に取り組み、各部署で目標を設定し、目標達成に向けて行動しております。</p>
<p>第25-0001号 武田商事株</p>	<p>取組の中には事業活動と相反する事柄があり、これからの課題としたいです。</p> <p>また、これまでの取組については、新たに入社した従業員からも色々な意見を取り入れ参考にしていきたいです。</p>
<p>第25-0002号 秋本食品株</p>	<p>当社は、食品製造会社のため食の安全を守る国際標準「HACCP」の義務化（2020年）に向け、更なる食品の安全・安心の向上に取り組んでおります。従いまして、ISO14001の認証を10年以上継続してまいりましたが、一定の成果並びに従業員個々の意識も環境への配慮が浸透したことから、ISO14001の認証を返上いたしました。社内的に環境負荷の低減に取り組んでおります。</p>

<p>第25-0003号 (株)高座豚手造りハム</p>	<p>従業員が、環境意識を持つことにより、少しでもエコにつながればと取り組みました。 設備面で難しい部分はありますが、これからもできることには取り組んでいきます。</p>
<p>第26-0006号 明電ケミカル(株)相模事業所</p>	<p>全面的な省エネタイプの設備導入には至っていないが、順次可能な所から交換をしていき環境負荷の低減を続けていきます。</p>
<p>第26-0007号 (株)アサヒコ</p>	<p>目標を掲げる事で、個々の意識向上及び積極的に取り組むことが出来たと思います。 照明器具は、基本LED化を実施、さらにエリアごとの人感センサー設置等、適性管理に努めていきます。 今後も継続し、取組目標の達成に向け環境にやさしい企業へと努めていきます。</p>
<p>第26-0008号 東ソー(株)東京研究センター</p>	<p>使用済み封筒の再利用や電子メディアを利用してワークフロー化を進めており、紙の使用量を抑制する取組を継続しています。 また、照明器具のLED化、省エネルギー型空調設備の導入、エネルギー消費の少ない自販機を導入するなど、地球温暖化の抑制にも努めています。 今後も継続して、廃棄物の排出抑制や省エネ対策など環境に配慮した取組をより一層努めていきます。</p>
<p>第26-0009号 日本蛍光化学(株)</p>	<p>従来より取り組んでいた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。 工場の耐震補強を行った際に、照明をLEDに変更しました。</p>
<p>第26-0010号 東急リネンサプライ(株)相模工場</p>	<p>社員全員が、常に環境意識を持って取り組むことができました。 取組内容は、少なかったですが確実にできることから取組をしました。</p>

綾瀬市環境報告書 平成29年度取組結果
平成30年9月発行

発行 神奈川県綾瀬市
編集 市民環境部環境保全課計画推進担当
〒252-1192 綾瀬市早川550番地
電話 0467-70-5620 (直通)